

2026
HIROSAKI

青の煌めきあおもり国スポ



第80回国民スポーツ大会

高等学校野球（硬式・軟式）競技会

開催日（軟式）2026年10月2日(金)～10月5日（月）
（硬式）2026年10月3日(土)～10月6日（火）

会 場 弘前市運動公園野球場(はるか夢球場)

主 催  公益財団法人日本スポーツ協会
文部科学省・青森県
公益財団法人日本野球連盟
弘前市

2026 AOMORI

第80回国民スポーツ大会

The 80th JAPAN GAMES

国民スポーツ大会（国スポ）は、都道府県対抗で毎年開催される国内最大のスポーツの祭典です。本県での開催は、前回のあすなろ国体[※]以来49年ぶりであり、前回同様、冬季大会と本大会を同一県で開催する「完全国スポ」です。

※ 2024年から「国民体育大会」の名称が「国民スポーツ大会」に変わりました。

あすなろ国体とは？

昭和52年、青森県で国体史上初となる完全国体（冬・夏・秋と3季にわたり行われる大会を同一県で実施した国体）として、第32回国民体育大会（あすなろ国体）が県内各地で華々しく開催され、本県は天皇杯を獲得しました。



大会愛称

青の煌めき^{きら}あおもり国スポ

青い空、青い海や湖、青い山並みなど美しく豊かな自然に恵まれた青森県で、あおもり国スポに参加する全ての人々が、交流を深め、感動を創出し、いきいきと煌めくような大会を目指します。

スローガン

翔ける未来へ縄文の風に乗って

縄文時代の遺跡が数多く存在する青森から、新たな歴史と感動を全国に向けて発信し、未来につなげていきたいという願いを込めています。

イメージソング「翔ける未来へ」



作詞：井元 仁江
作曲：T. Mikami
編曲：多田 慎也、島田 尚
歌唱：りんご娘
（ピンクレディ、
スターキングデリシャス、
はつ恋ぐりん、金星）

ダンス「青の煌めき^{きら}ダンス」



イメージソング「翔ける未来へ」にあわせ、振付けに青森県を表現するポーズやねぶたの跳人の動き、手話による表現などを盛り込んだ、青森らしいユニバーサルデザインダンスです。

公式マスコット



「アップリート君」

特徴ある県の形と、ハチマキの中央にある「りんご」で青森県を表現しています。

LINEスタンプも販売！



最新情報は公式アプリ・HP・SNSで！

公式アプリ



Download on the
App Store

GET IT ON
Google Play

Q あおもり国スポ

検索

今すぐ無料ダウンロード！

公式HP



X



Instagram



YouTube



目 次

あいさつ

公益財団法人日本スポーツ協会 会長 遠藤 利明	1
文部科学大臣 松本 洋平	2
公益財団法人日本高等学校野球連盟 会長 北村 聡	3

歓迎のことば

青森県知事 宮下 宗一郎	5
弘前市長 谷川 政人	6
青森県高等学校野球連盟 会長 山口 正実	7

大会役員	8
競技会役員	12
競技役員	14
競技補助員・競技会係員・競技会補助員	15
協力機関・団体等	16
総則	17
実施要項	18
表彰式次第	23
競技日程・組合せ	24
高等学校野球競技の見方	28
出場校紹介（硬 式）	30
出場校紹介（軟 式）	38
過去の成績一覧	46
競技会場周辺図	50
競技会場案内図	51
関係機関連絡先一覧	52

あいさつ



公益財団法人日本スポーツ協会
会長 遠藤 利明

はじめに、本年7月28日に発生した令和8年熊本地震により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。また、同地震及び昨年12月8日に発生した青森県東方沖地震により被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げ、一日も早い復興と皆様のご健康を心からお祈りいたします。

第80回国民スポーツ大会は、本年1月から2月に行われた冬季大会と併せ、「完全国スポ」として開催いたします。

第71回岩手大会以来、10年ぶりとなる「完全国スポ」を締めくくる本大会が、縄文の時代から育まれてきた歴史と文化を有し、豊かな風土に恵まれた本州最北の地、ここ青森県において開催されますことは、誠に意義深いことであります。

本年は、第25回オリンピック冬季競技大会（ミラノ・コルティナ）、サッカーFIFAワールドカップ2026、第20回アジア競技大会（愛知・名古屋）などの大規模な国際総合競技大会が開催され、多くのアスリートの目覚ましい活躍が、私たちに大きな勇気を届けています。

本大会が「翔けろ未来へ縄文の風に乗って」というスローガンの通り、出場するアスリートの皆様にとって、世界へ羽ばたく契機となることを切に願っています。

さて、日本スポーツ協会では、「有識者会議」からの提言に基づき、令和7年7月、改革を具体的に進める組織として、「国スポ改革タスクフォース」を設置しました。

今後、現状と課題を分析し、国民スポーツ大会が競技性・祝祭性・社会性・文化性を掛け合わせた、「トップアスリートと地域スポーツの好循環 ～人と地域の未来を創る～」という理念を具現化できる大会となるよう、検討を進めているところです。

結びに、地震からの復旧に取り組みながら、本大会の開催にあたり諸準備にご尽力いただきました 青森県をはじめ、関係の皆様方のご支援、ご協力に対し心から深く感謝申し上げます。

あいさつ



文 部 科 学 大 臣
松 本 洋 平

はじめに、令和8年熊本地震によりお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災された全ての方々に心からお見舞い申し上げます。

文部科学省としては、被災された熊本県をはじめとする自治体への支援に全力を挙げて取り組んでまいります。

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、ここ青森県において昭和100年記念 第80回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」が盛大に開催されますことを、誠に喜ばしく存じます。

青森県は、世界自然遺産の「白神山地」、四季折々の表情を見せる「八甲田山」や「岩木山」など豊かな自然の魅力にあふれ、世界文化遺産である「北海道・北東北の縄文遺跡群」や重要無形民俗文化財である「青森のねぶた」など、自然と文化が息づく県です。

昭和52年のあすなろ国体以来49年ぶりの青森県での開催となり、「翔けろ未来へ縄文の風に乗って」をスローガンに、県全域を舞台に熱戦が繰り広げられます。

本大会は、史上初となる総合開会式・閉会式の屋内開催に加え、大会公式アプリによる競技情報や結果速報の提供、デジタルチケットの活用などデジタル技術の活用により、選手と観客双方に配慮した大会運営となっています。「青の煌めきあおもり国スポ」が、国民に夢と感動を与え、青森県の魅力発信と活性化につながる大会となりますことを心から願っております。

郷土の代表として参加される選手の皆さんが、積み重ねてこられた練習の成果を思う存分発揮され、我が国の国際競技力の向上が図られるとともに、この機会に全国の仲間や青森県民の皆さんとの交流を通じて、思い出に残る大会となりますことを期待しております。

昨年度は、東京2025世界陸上競技選手権大会、第25回夏季デフリンピック競技大会東京2025、ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピック・パラリンピック競技大会が、今年度は、愛知・名古屋において、第20回アジア競技大会、第5回アジアパラ競技大会が開催され、国民のスポーツへの関心はますます高まっているところです。

文部科学省としても、アスリートや子供たちの活動の機会を確保し、スポーツの持つ力やすばらしさが社会の活力につながるよう、関係の皆様と一丸となって取組を進めてまいります。

結びに、「青の煌めきあおもり国スポ」の開催に当たり御尽力いただいた地元青森県、会場となる各市町村をはじめとする関係の皆様の御支援、御協力に対し、心から敬意と感謝の意を表しまして、御挨拶といたします。

あ い さ つ

〔硬式の部〕



公益財団法人 日本高等学校野球連盟

会 長 北 村 聡

1977(昭和 52)年の「第 32 回国民体育大会」以来 49 年ぶりに、青森県において「青の煌めきあおもり国スポ大会」が開催されますことは、誠に喜ばしくご同慶の至りです。

青森県ならびに高等学校野球競技会硬式の部開催地の弘前市をはじめ、関係の皆様方には、大会開催に当たり、種々ご尽力いただきました。関係各位に厚く御礼申し上げます。

さて、全国大会の硬式野球における青森県勢の活躍を振り返りますと、第 51 回全国高等学校野球選手権大会で青森県勢として初の決勝進出を果たし、延長引き分け再試合の激闘を繰り広げ、準優勝した三沢の活躍は、皆さんの記憶に残っていると思います。

更に、2011(平成 23)年夏から翌 2012(平成 24)年夏まで 3 季連続で、全国大会に準優勝した八戸学院光星の活躍もありました。

また、国民スポーツ大会においては、第 9 回大会(1954 年 北海道)で青森一が初めて出場しました。

一方、春の選抜高等学校野球大会においては、第 28 回大会(1956 年)に八戸が出場したのが始まりで、その後も三沢、弘前、弘前工、青森北、八戸工大一、八戸学院光星、青森山田、八戸西がそれぞれ出場しました。

更に、夏の全国高等学校野球選手権大会においては、第 12 回大会(1926 年)に八戸中が青森県勢として初出場したのが始まりで、その後、青森師範、青森、東奥義塾、青森一、八戸、五所川原農林、青森商、青森北、弘前実、弘前工、木造、八戸工大一、青森山田、弘前学院聖愛、三沢商がそれぞれ出場しました。

本年の第 108 回全国高等学校野球選手権大会に出場した 8 校が、再び弘前市に集い、相互の交流を深め、友情の輪を広げることが出来る機会を得たことは、誠に意義深いものと考えます。また、今年も昨年と同様、7 イニング制を導入することとなりました。

青森県下はもとより全国の高校野球ファンの皆様の期待に応えられるような熱戦が繰り広げられるものと楽しみにしています。

以 上

あ い さ つ

〔軟式の部〕



公益財団法人 日本高等学校野球連盟

会 長 北 村 聡

1977(昭和 52)年の「第 32 回国民体育大会」以来 49 年ぶりに、青森県において「青の煌めきあおり国スポ大会」が開催されますことは、誠に喜ばしくご同慶の至りです。

青森県ならびに高等学校野球競技会軟式の部開催地の弘前市をはじめ、関係の皆様方には、大会開催に当たり、種々ご尽力いただきました。関係各位に厚く御礼申し上げます。

さて、全国大会の軟式野球における青森県勢は、国民スポーツ大会においては、第 6 回大会(1951 年 広島)で弘前商が出場したのが始まりで、その後、青森商、八戸工が出場致しました。

また、全国高等学校軟式野球選手権大会においては、第 9 回大会(1964 年)に板柳が県勢として初出場したのが始まりで、その後、青森商、八戸工、八戸学院光星、東奥義塾がそれぞれ出場しました。

本年の第 71 回全国高等学校軟式野球選手権大会で活躍した代表校が、弘前市に集い、相互の交流を深め、友情の輪を広げることが出来る機会を得たことは、誠に意義深いものがあります。

軟式野球は、日本の野球の普及・発展に大きく貢献してきました。本大会が軟式野球の魅力を伝えとともに、青森県下はもとより全国の高校軟式野球ファンの皆様の期待に応えられるような熱戦が繰り広げられることを楽しみにしています。

また、昨年同様に今年も 7 イニング制を導入することとなりました。ご注目いただければ幸いです。

以 上

歓迎のことば



青 森 県 知 事
宮 下 宗 一 郎

はじめに、令和８年熊本地震によってお亡くなりになられた方々に、深く追悼の意を表しますとともに、御遺族と被害に遭われた方々に心からお見舞い申し上げます。

昭和１００年記念青の煌めきあおもり国スポ「第８０回国民スポーツ大会」が昭和元年（１９２６年）から起算して満１００年の節目となる年に、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、青森県において開催されますことをお喜び申し上げます。そして、全国各地からお越しくださいました選手及び関係者の皆様を、県民を代表して心から歓迎いたします。

「青の煌めきあおもり国スポ」は、史上初の完全国体である「あすなろ国体」以来４９年ぶりとなる青森県での開催であり、国民体育大会から国民スポーツ大会に大会名称が変更されてから、初の“完全国スポ”となります。

「翔けろ未来へ縄文の風に乗って」のスローガンのもと、美しく豊かな自然の恵みを受けながら、一万年以上にわたり縄文文化が営まれていたこの青森の地で生まれる新たな歴史と感動、そしてこれを希望ある未来へつなげていきます。

“スポーツで青森県が一つ”に、“私たち県民の心がスポーツで一つ”になる、「青森新時代」の大会を目指し、県民総参加で青森県を青の煌めき一色に染め上げ、スポーツの祭典を盛り上げたいと考えています。

選手の皆様には、日々の練習で培ったパフォーマンスを存分に発揮されますとともに、感動と温かい交流にあふれ、皆様の心に残る最高の大会となることを願っています。

結びに、今大会の開催に御尽力されました関係者の皆様に心から感謝を申し上げるとともに、今大会の成功と選手の皆様の御健闘をお祈りし、歓迎のことばといたします。

歓迎のことば



青の煌めきあおもり国スポ・障スポ 弘前市実行委員会会長

弘前市長 谷川 政人

はじめに、本年7月に発生した令和8年熊本地震により亡くなられた方々に、謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された全ての皆様に心よりお見舞いを申し上げます。被災された地域の皆様の安全と、一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

第80回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」高等学校野球（硬式・軟式）競技会が、「お城とさくらとりんごのまち」弘前市で盛大に開催できますことを大変嬉しく思います。市民を代表して、全国各地からお越しの選手・監督、関係者の皆様に心から歓迎を申し上げます。

青森県での開催は、昭和52年の第32回国民体育大会「あすなろ国体」以来、49年ぶり2回目であり、当市では、国スポ正式競技6競技、特別競技1競技、デモンストレーションスポーツ2競技、障スポ正式競技2競技が行われます。

全国からお越しになる皆様を心のこもったおもてなしでお迎えできますよう、市民一丸となって準備を進めてまいりました。出場される選手の皆様におかれましては、郷土の代表として日頃の練習の成果を存分に発揮され、優秀な成績を収められますとともに、全国の選手相互の親睦と交流の輪を大いに広げられますことをお祈り申し上げます。

本大会の会場地である弘前市は、世界自然遺産・白神山地の玄関口に位置し、「津軽富士」とも呼ばれる岩木山の麓には、日本一のりんご産地が広がっております。また、日本有数の桜の名所・弘前公園には現存天守を有する弘前城が構え、市内には明治・大正時代の洋風建築や、日本近代建築の巨匠・前川國男氏が手掛けた建築物が点在するなど、豊かな自然と歴史・文化が息づく城下町であります。さらには、特色ある物産や郷土料理など、ぜひこの機会に、本市ならではの魅力を肌で感じていただけたら幸いです。

結びに、本大会の開催にあたり御尽力を賜りました関係者の皆様に心から感謝を申し上げますとともに参加される皆様のご活躍と大会のご成功を祈念申し上げまして、歓迎のことばといたします。

歓迎のことば



青森県高等学校野球連盟
会長 山口 正実

ようこそAOMORIへ！青森県へお越しいただき、心より歓迎申し上げます。

「翔けろ未来へ縄文の風に乗って」のスローガンのもと、第80回国民スポーツ大会（2026 青の煌めきあおもり国スポ）高等学校野球（硬式・軟式）競技会が開催されますことは、私ども青森県高校野球関係者にとりまして、この上ない喜びであります。

本競技会では、第108回全国高等学校野球選手権大会において優秀な成績を収められた高校に、開催県青森の代表校を加えた8校が選抜され、4日間にわたり熱戦が繰り広げられます。青森県高等学校野球連盟及び加盟校一同は、出場校の皆さんが最高の力を発揮できますよう、心より応援しております。日頃の厳しい練習を積み重ね、鍛え抜かれた技と精神力を備えた選手の皆さんが、この舞台上で躍動されることを大いに期待しております。また、各チームがフェアプレーの精神のもと全力で競い合い、互いに切磋琢磨することにより、実り多く、心に残る大会となりますことを願っております。

本県青森は、本州最北端に位置し、世界自然遺産・白神山地や雄大な八甲田連峰、神秘的な十和田湖、変化に富んだ海岸線など、豊かな自然環境に恵まれております。また、縄文文化をはじめとする歴史的資源も豊富であり、三内丸山遺跡に代表される貴重な遺産は、地域の誇りとして今日に受け継がれております。さらに、全国に誇るりんごをはじめとする農産物や新鮮な海の幸に恵まれた食文化も大きな魅力であり、四季折々の味覚をお楽しみいただけます。夏には青森ねぶたや弘前ねぶた、五所川原立佞武多、八戸三社大祭など、県内各地で個性豊かな祭りが開催され、多くの人々を魅了しています。加えて、本県の人々の温かく実直な気質も、訪れる皆様に安心と心地よさを感じていただける魅力の一つであります。ご来県いただいた皆様には、競技の合間にぜひ青森の自然、歴史、文化、そして人の温かさにも触れていただければ幸いに存じます。

結びに、競技会開催にあたり、日本高等学校野球連盟、青森県並びに弘前市実行委員会をはじめ、運営にご協力賜ります多くの関係の皆様に感謝申し上げますと共に、本競技会の成功を心より祈念申し上げ、歓迎のことばといたします。

大会役員

2026年7月31日現在
(順不同・敬称略)

名誉会長	松本 洋平			
会長	遠藤 利明			
副会長	益子 直美	田中 不二夫	三宮 恵利子	森岡 裕策
	河合 純一	宮下 宗一郎		
顧問	森 喜朗	安西 孝之	岡崎 助一	越川 均
	坂元 要	勝田 隆	飯塚 悟	池田 めぐみ
	石井 砂織	植田 実	浦美 奈子	笠師 久美子
	鹿島 丈博	木平 芳定	工藤 保子	久保 正美
	小寺 洋	櫻井 由香	中嶋 実	橋本 聖子
	村松 さやか	室伏 由佳	湯川 和之	吉岡 成子
	久保 直生	藤田 裕司	藤原 誠	室城 信之
	金子 日出澄	貝瀬 智洋	森 晃	土橋 登志久
	石丸 元国	多氣 洋平	井崎 洋志	鬼頭 有紀子
	長谷川 洋子	吉田 長寿	齋木 尚子	多賀 恒雄
	安藤 淳	上治 丈太郎	湧永 寛仁	三宅 秀一郎
	佐藤 健司	馬場 美香	堺 充廣	南 和文
	宮永 美寿津	千田 健一	中里 壮也	岡本 友章
	大野 淳	永谷 喜一郎	田村 恒彦	蒔田 実
	山崎 勝洋	浅見 敬子	山口 徹正	田中 伸周
	村田 利衛	建部 彰弘	市野 保己	丸石 博
	中村 ゆり子	齋藤 良太郎	谷田部 和彦	木村 博美
	井上 弘	今川 啓一	近藤 重和	池谷 正成
	大澤 明美	古城 資久	小野 賢二	園山 和夫
	中山 俊行	田中 徹	知念 かおる	出口 弘之
	田邊 哲人	城門 政文	前川 恵	園田 義宜
	布村 幸彦	川原 元則	生島 典明	大沢 陽子
	谷藤 節雄	中村 伸彦	千葉 玲佳	奥山 雅信
	酒井 祐一	藤田 知巳	北條 俊明	田子 昌之
	新井 彰	山崎 成夫	塩見 清仁	田名部 高雄
	井出 仁	今西 博一	中村 宏平	新保 暢
	森山 喜博	横山 幹夫	花崎 武彦	高橋 繁浩
	山本 健次	増田 和伯	藤堂 寛	山本 誠三
	松本 恭幸	東 直也	奥田 晃	横尾 英治
	小西 慎太郎	近藤 一幸	堂本 ひさ美	河村 祐一

渡邊浩三	田中稔	高岡晃仁	青木章泰
城戸英敏	小柳勝彦	辛木秀子	宮成康藏
若林繁幸	岩元幸成	平良朝治	藤原正樹
新宮領毅	川上隆弘	佐藤廣子	奈良久美
小菅司	宇津木妙子	菊幸裕一	小林茂樹
寺澤正孝	山口かおる	中村子宏	小矢野和彦
清水真良	茂里毅	浅野敦行	津島匡淳
柿田潤一	木村次郎	江渡聡徳	田名部匡子
福士珠美	山中泉	工藤慎光	風崎寿一
横町俊明	西秀木温	濱舘裕子	尾崎大地
鈴木進靖	三本澤祐二	有森東二	鈴須英明
宮本恒一	深藤直志	坂田慎文	富山光二
川合益弘	砂岡良男	金丸藤正	安村真一
馬場正也	豊田井満	後真砂弘成	中土川善弘
河合幸男	村大野正淳	世耕保素聡	笛川羽裕生
町田富宏	土岩城光司	北村美栄子	丹荒川清士
津賀一也	鶴田富可子	吉村藤祐司	北村野元裕
達増和彦	福小谷実之義	遠岡田嵩人	大花角野剛
大井川俊朗	山野口義隆	石谷多加俊	高村秀章
熊田八守一	田橋祥二郎	西脇隆泉	高橋昭男
新阿部歳彦	高橋健夫	宮崎章男	林岡純子
伊藤元也	福谷孝昌	迫谷岩研一	村城純一
斎藤達純	越綾田裕次郎	大塚田康	今木村敬
後藤正太郎	綾田原耕俊	平塩田	玉城デニ
服部誠益直	宮日隈		
麻生			

参 与	粂 阿 蛭 大 北 工 斉 高 田 夏 福 山 和 安 三 船 工 佐 山 堤 高 宮 佐 七 三 外	井 部 沢 平 向 藤 藤 橋 端 堀 土 田 田 浦 木 藤 本 静 杉 野 藤 尾 上 崎	圭 祐 正 陽 由 悠 孝 修 深 嘉 直 寛 博 猛 久 泰 恒 子 勝 孝 忠 嘉 千 れい	子 己 勝 子 樹 平 昭 一 雪 郎 治 司 史 義 正 剛 太 子 彦 晶 全 信 春 浩	大 安 小 木 後 齊 高 鶴 夏 丸 山 奥 松 千 豊 栗 安 津 橋 工 田 倉 佐 高	杉 藤 崎 原 明 藤 藤 賀 堀 井 谷 田 本 葉 島 林 田 場 村 橋 藤 木	住 晴 光 大 和 清 紀 谷 浩 裕 清 忠 史 雄 信 幸 豊 貴 英 保 裕 琢 純 健 伸	子 美 明 佑 人 安 爾 子 貴 一 裕 文 雄 晴 文 幸 司 一 人 司 哉 造 一 也	中 伊 大 川 櫛 小 鹿 田 寺 成 三 吉 大 中 後 秋 新 東 米 目 中 一 岡 高	村 吹 澤 村 引 比 内 中 田 成 橋 田 大 野 村 野 屋 山 内 澤 居 川 戸 島 杉	宇 信 祥 宏 悟 ユキ 卷 正 博 順 達 陽 一 ゆかり 圭 博 文 桂 孝 国 正 伸 敬 伸 善 裕 金	一 一 宏 悟 規 博 造 也 光 三 圭 之 子 桂 文 男 明 一 子 吾 正 史 助	廣 井 大 菊 工 今 清 田 夏 花 森 吉 平 久 細 上 築 大 小 山 川 里 櫛 工 小	田 本 澤 池 藤 水 名 坂 田 内 侯 間 慈 谷 沢 田 山 口 浪 村 引 藤 関	美 貴 敏 兼 悦 部 坂 之 保 恵 美 健 謙 潮 力 内 龍 泰 智 利 智 幸	香 之 彦 勲 光 博 郎 男 修 介 留 洋 美 穂 司 一 潮 修 城 浩 彦 貞 久 一		笠 野 英 弘 基 子 武 行 忠
	山 岩 松 関 三 二 中 小	本 田 永 口 ヶ 田 宮 尾 澤	本 史 敬 直 礼 智 慶 大	浩 昭 子 樹 一 浩 郎 樹	石 三 菅 山 小 下 小	田 宅 原 澤 竹 條 笠 原	裕 宏 哲 文 喜 伸 忠	美 実 朗 裕 也 彦 儀	出 稻 田 福 田 江 高	崎 垣 崎 田 内 橋 井	和 公 博 一 慎 千 和	夫 雄 道 稔 也 晴 紀		笠 松 宇 秋 宮	野 田 野 本			
委 員 長																		
副 委 員 長																		
総 務 委 員																		

委 員	平	野	了	高	橋	聖	一	永	井	雅	史	神	山	康	洋
	福	士	幸	栗	原		崇	竹	ノ	脇	秋	鈴	木	克	宜
	葛	西	玲	濱	野		勉	寺	澤		淳	黒	川	重	男
	舟	喜	信	福	島	亮	一	中	梶	秀	則	堀	越		浩
	加	藤	憲	宮	川	良	輔	鈴	木	章	広	川	口		巖
	山	口	俊	岡	泉		茂	朝	倉	康	善	木	塚	鉄	也
	平	井	宏	濱	崎		満	岸	川	剛	之	西	原	斗	司
	山	口	鉄	菅	原	正	幸	伊	東	毅	嗣	長	南	哲	生
	衛	藤	敬	上	久	保	僚	中	段	亜	美	鈴	木	信	吾
	内	田	淳	関	根	明	子	中	山	二	男	崎	村	尚	人
	吉	田	由	杉	本	好	二	國	重	さ	ゆ	高	梨	治	紀
	川	口	雅	田	邊	賢	一	山	井	口	剛	富	澤	佑	也
	政	岡	航	坊		百	花	井	澤	貫	太	田	中	雅	紀
	寺	垣	佑	柿	崎	繁	信	橋	口	真	夕	田	谷	遥	太
	町	屋	毅	山	本	高	史	松	橋	伸	哉	長	川	光	昭
	白	幡	博	田	畑	幸	浩	加	藤	雄	樹	小	林	健	也
	幸	田	和	大	貫	大	輔	小	池	則	之	今	井	隆	元
	三	浦		舟	木	雅	美	阿	部	哲	也	片	岡	英	史
	福	居	久	三	武	紀	子	長	坂	嘉	久	井	澤	克	行
	林	剛	史	稻	葉	晴	伸	森	島	哲	也	和	田	吉	史
中	野	吾	佐	々	木	也	木	原	哲	博	越	智	敏	文	
小	林	悟	中	嶋	純	也	前	田	康	之	松	本	守	正	
松	本	綾	中	田	健	治	石	津	雅	朗	加	藤	康	泰	
高	田	孝	日	野	利	剛	前	濱	義	宏	笠	井	賢	一	
尾	驚	一	川	端	尚	行	濱	黒	昌	史	吉	野	瑞	洋	
都	甲	尚	山	元	憲	史	黒	千	裕	也	高	間	裕	晃	
遠	藤	信	角	屋	真	正	加	葉	雅	克	菅	澤	宏	之	
岡	崎	正	角	田	憲	司	藤	丸	紳	和	柄	野	公	紀	
杉	田		塩	田	知	己	井	上	伸	哲	河	後	元	彦	
碓	井	稔	武	田	長	衛	松	井	井	守	今	岡	直	彦	
沼	田	守	田	部	右	門	寺	崎	雅	已	吉	島	祥	嗣	
高	岡	晃	葛	目	憲	昭	黒	木	淳	郎	田	間	敏	生	
荒	木	健	平	江	公	一					城				
丹	羽	浩													

競技会役員

2026年9月15日現在
(順不同・敬称略)

名誉会 会長 副会長 顧問	長 長 長 問	谷北尾堀脇田菅深佐土杉橋西二坂尾中米松木坂工角一廣西相古福木森	川村上子村名部原谷木肥谷本神本崎田橋本藤田戸谷馬館士村山	政人 聡 良宏 義人 春男 和裕 基靖 慎一 恵悟 智稔 正宏 弘明 憲昭 寿夫 康智 武史 隆洋 賢生 しの 竜滋 幸治 学茂 礼博 貴紀 知正	山本英二 田上康孝 川政昭樹 木本英勝 脇井裕之 岡田修志 藤和中 苗山 田浦 辺野上 沼澤口 山澤岐 土谷友 小友	秀明 英二 康孝 政昭 秀樹 英勝 博裕 晶修 光志 聖元 博敬 大介 果浩 朋子 憲正 隆賢 孝志 り力	辻中祐子 角田弘二 氏家口康之 齊藤宏太郎 小林真章 野村善之 坂本勝哉 久保田力彦 古川健二 森尚敏 後野一榮 外崎山聰 畑浪敦 志村洋子 日景信隆 栗嶋博美 佐藤史誠 齊藤泰秀 石田豊章 小山三千雄	山口正実 齊藤信宏 北村康典 齋藤明博 岩崎良成 田濃祐一郎 平尾浩一 岩本憲政 黒木誠	山口正 藤村部 信雅 宏俊 雅康 明博 良成 祐一郎 浩一 憲政 誠	春藤英德 佐山和夫 矢橋佳之 中野正人 田口富智 久保村智 橋本具征 井上泰治 水津則義 鳴川幸恵 長池一徳 眞榮田義光	豐川武伸 三上秋雄 千葉浩規 齋藤豪之 竹内博加 須藤江利 伊東重豪 山本昭輝 島浩之清 加藤弘光 長内盛彦 石田祥史 鎌田良樹 秋田美織
------------------------	------------------	---------------------------------	------------------------------	---	---	--	--	--	--	---	--

委員長
副委員長
委員

井本亘
玉熊康成
内藤雅之
熊谷理恵子
尾崎泰輔
馬場光仁
榎戸努二
桑嶋裕也
大場卓輝
里村潤
小笠原裕亮
石田裕亮

村上博樹
田摩幸夫
根岸雅則
志方浩文
土井一弥
中川秀樹
齋藤久保
木村佑輔
藤林隆司
野月田親

古山潤
福留和年
正木陽史
野村和美紀
北川賀宣
鶴ヶ洞拓朗
君ヶ洞正一
西村畑信
中畑徹
四木股豐
猪股

細川典宏
堅田外司昭
中島隆信
横山泰之亮
高津秀一
大金澤航
鈴木佑
中西拓朗
矢田公夫

海老久美子
堤保彰
武内紀子
和田史穂
野間貴之
松本嘉次
浪岡銳治
山田明佳
米谷拓
打谷桂子

競技役員

2026年9月15日現在
(順不同・敬称略)

総務委員長	山本秀明													
総務副委員長	井本亘			尾崎充洋										
総務委員	玉熊康成			下田峰幸		村上博樹		中畑信		五十嵐喜代敬				
	鈴木佑			樋口敦		小坂貫志		高橋裕也		山田明佳				
	榎本和彦			田村一晃		白戸英		四木徹		工藤靖大				
	野宮和博			桜庭瑞人		小枝泰隆		秋田幸生		越後博之				
	千葉直樹			野崎太郎		角谷正浩		村岡需		小笠原博樹				
	齋藤昌宏			桒祥吾		佐藤正臣		平山智順		横山慶人				
	小向泰丸			西中裕也		工藤達哉		竹村晴登		工藤公治仁				
	工藤準平			須藤倫裕		兼松力卓		品田至港		木田里仁				
記録報道委員	中西拓朗			里村輝		米谷卓		中村						
放送委員	半田拓也			石田裕亮		葛西亮		成田統						
掲示委員	藤本央			佐藤康平		岩渕玄		松尾英智		中村大二郎				
球場委員	浪岡鋭治			菊池穰		田中樹		横山武夫		上山正徳				
式典表彰委員	小笠原潤			下山善久		中村圭汰		菊池秋夫						
補助員担当委員	小平山学			附田武浩		秋田健二		金田真和		大湯輔				
	南川一真			天羽英紀		尾形洋紀								
	藤林佑輔			荒谷恵太		米田親蓮		蝦名雄仁		加澤和八				
千一ム担当委員	葛西徳哉			成田法顕		大瀧		亀田高規		加大高庸平				
	菊池秀平			奥谷恭史		長尾怜央		半田莉久斗						
	野村大知範			飛内伸哉翼		柴田健太郎		工藤秀樹		小山内淳一				
練習会場委員	原田一範			木村										
審判委員長	西村正一													
審判副委員長	関剣太郎													
審判委員	千葉俊春			宇野正毅		金正夫		井上武夫		古川幹人				
	花松章			澤田貴志		金東谷龍汰		坂牛千尋		川後藤直博				
	長内寿			木村均		溝江一則		西谷健一		立添香平				
	福永春雄			滝田喜男		小田健嗣		石田貢		森城教己				
	二又由企亮			三浦美樹磨		栗原裕昌		大鹿糠悠里		大森悦己				
	木下亮文			梅田琢保		小倉聖平		沼田信一		中山				
	小西康文			三上保		前田憲孝		中村博和						

競 技 補 助 員

2026年7月31日現在
(順不同)

青 森 県 立 弘 前 高 等 学 校 青 森 県 立 弘 前 中 央 高 等 学 校 青 森 県 立 弘 前 南 高 等 学 校
青 森 県 立 弘 前 工 業 高 等 学 校 青 森 県 立 弘 前 実 業 高 等 学 校 弘 前 学 院 聖 愛 高 等 学 校
東 奥 義 塾 高 等 学 校 弘 前 東 高 等 学 校

競 技 会 係 員

青の煌めきあおもり国スポ 弘前市実施本部職員一同

ボ ラ ン テ ィ ア

青の煌めきあおもり国スポ 弘前市運営ボランティア一同

協力機関・団体等

(順不同・敬称略)

協賛企業・団体

株 式 会 社 日 善 電 気	青森三菱電機機器販売株式会社
株 式 会 社 日 善 工 業	弘 前 建 設 業 協 会
株 式 会 社 テ ク ノ ル	有 限 会 社 エ ポ ッ ク ス
学 校 法 人 弘 前 城 東 学 園	津 軽 保 健 生 活 協 同 組 合
有 限 会 社 ゴ ー ル ド 農 園	

総 則

開 催 の 趣 旨

国民スポーツ大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとする国内最大のスポーツの祭典である。

青森県で開催する第80回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」は、「翔けろ未来へ縄文の風に乗って」をスローガンに掲げ、スポーツによる感動や交流の輪が広がるとともに、本県のあらゆる魅力を発信するなど、県民総参加による青森県らしさあふれる大会を目指して開催する。

実 施 方 針（目次）

※内容については、下記URLまたは二次元コードからご参照ください。

【URL】 <https://aomorikokuspo2026.pref.aomori.lg.jp/kokuspo/outline/>

- 1 実施競技
- 2 会期及び会場
- 3 競技方法
- 4 ドーピング検査の実施
- 5 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準
- 6 各正式競技の総合成績決定方法
- 7 表彰
- 8 参加申込方法
- 9 棄権手続
- 10 大会参加負担金
- 11 宿泊申込
- 12 都道府県選手団本部役員編成
- 13 視察員
- 14 参加章及びADカードの交付
- 15 参加上の注意
- 16 個人情報及び肖像権に関わる取り扱い
- 17 都道府県大会及びブロック大会
- 18 国民スポーツ大会参加者傷害補償制度
- 19 青の煌めきあおもり国スポの実施目標
- 20 その他

【二次元コード】



- 別記1 「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」
- 別記2 「『一家転住等』に伴う特例措置」
- 別記3 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」
- 別記4 「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」
- 別記5 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」
- 別記6 「令和6年能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

実 施 要 項

- 1 期 日 (1) 硬 式 2026 年 10 月 3 日 (土) から 10 月 6 日 (火) まで (4 日間)
(2) 軟 式 2026 年 10 月 2 日 (金) から 10 月 5 日 (月) まで (4 日間)

種目	10 月 2 日 (金)	10 月 3 日 (土)	10 月 4 日 (日)	10 月 5 日 (月)	10 月 6 日 (火)
硬式		1 回戦	準決勝	休養日	決勝
軟式	1 回戦	休養日	準決勝	決勝	

- 2 会 場 弘前市運動公園野球場(はるか夢球場)

3 種別(種目)及び参加人員

種 目	責任教師	監 督	選 手	参加都道府県	小 計	合計(人)
硬 式	1	1	18	8	160	304
軟 式	1	1	16	8	144	

4 競技上の規程及び方法

- (1) 適用規則は、2026 年度公認野球規則、アマチュア野球内規(2026 年)、高校野球特別規則(2026 年版)並びに大会特別規則による。
- (2) 試合方法
 - ア 7 イニング制とする。
 - イ トーナメント方式とする。3 位決定戦は行わない。
 - ウ 点差によるコールドゲーム(5 回終了以降 10 点差)を採用する。
 - エ 降雨等により試合が成立しなかった場合は、その試合を継続試合とする。
 - オ 試合が 7 回終了時点で同点となった場合は、タイブレーク方式を採用する。
- (3) 審判委員は、公益財団法人日本高等学校野球連盟が委嘱する。
- (4) 使用球
 - ア 硬式は、2026 年度公認野球規則によって定められた規格を有するボールを使用する。
 - イ 軟式は、公益財団法人全日本軟式野球連盟の公認球 M 号球を使用する。
- (5) 競技服装

従来のユニフォームのマークのほか、その都道府県で定められた標識は、見やすいところであれば(チーム全員が同じ位置に付けること)どこでもさしつかえないが、なるべく右袖につけること。

背番号は、選手権大会で使用したものに準ずるものをつけてもよい。
- (6) 組合せ

公益財団法人日本高等学校野球連盟で各委員立会いの上、代理抽選によって決定する。

5 参加校の選出

(1) 選出方法

ア 硬 式

公益財団法人日本高等学校野球連盟が委嘱した選考委員会において、下記事項により決定することを原則とする。

(ア) 第 108 回全国高等学校野球選手権大会準決勝に出場したチーム・・・・・・ 4 校

※同一都道府県から 2 校が準決勝に進出した場合は、選考委員会でうち 1 校を選出し、「(ウ) その他」での選出を 1 校増とする。

(イ) 開催県代表チーム[(ア)に開催県が含まれない場合]・・・・・・ 1 校

※開催都道府県代表チームが準決勝に進出した場合は、「(ウ) その他」での選出を 1 校増とする。

(ウ) その他・・・・・・ 3 校

(ウ)は、第 108 回全国高等学校野球選手権大会に出場したチームの中から、上記(ア)のチームの所属地区外(開催県代表チームの所属地区含む)から代表チームを選出することを原則とし、地区外からの選出が難しい場合は、同大会 3 回戦進出以上のチームの中から戦いぶり等をもとに選考委員会で選出する。

イ 軟 式

公益財団法人日本高等学校野球連盟が委嘱した選考委員会において、下記事項により決定することを原則とする。

(ア) 第 71 回全国高等学校軟式野球選手権大会準決勝に出場したチーム・・・・・・ 4 校

(イ) 開催県代表チーム[(ア)に開催県が含まれない場合]・・・・・・ 1 校

※開催都道府県代表チームが準決勝に進出した場合は、「(ウ) その他」での選出を 1 校増とする。

(ウ) その他・・・・・・ 3 校

(ウ)は、第 71 回全国高等学校軟式野球選手権大会に出場したチームの中から、上記(ア)のチームの所属地区外(開催県代表チームの所属地区含む)から代表チームを選出することを原則とし、地区外からの選出が難しい場合は、同大会 1 回戦の戦いぶり等をもとに選考委員会で選出する。

(注) 上記に該当したチームでも、高等学校野球チームとして好ましくないもの、又は高等学校野球選手として好ましくない選手を有するチームは、出場を取り消し、補欠校を出場させる。ただし、参加申込み締切後は補欠校を選出せずに棄権扱いとする。

(2) 参加校の決定時期

ア 硬 式 第 108 回全国高等学校野球選手権大会中に選考委員会を開いて決定する。

イ 軟 式 第 71 回全国高等学校軟式野球選手権大会中に選考委員会を開いて決定する。

6 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

総則 5 及び公益財団法人日本高等学校野球連盟で定めた 2026 年度大会参加者資格規定(高等学校野球選手、部員のプロ野球団との関係についての規定及び国民スポーツ大会参加者資格規定を含む)による。

ただし、2026 年度大会参加者資格規定第 5 条第 2 項又は第 7 項で認められた年齢超過選手は、総則 5-(3)の選手の年齢基準の制限にかかわらず、特例として出場することができる。

7 表 彰

各種別の第1位から第3位までに、賞状を授与する。

8 参加申込方法

総則8に定めるもののほか、次による。

- (1) 所定の Web ページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスし、必要項目を入力の上、所属都道府県スポーツ協会を通じて、2026年9月3日（木）午後5時までに申込み手続を完了すること。締切期限までに提出しないチームは、出場を辞退したものととして取り扱う。
- (2) 締切期限以降は、所定の Web ページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスできなくなるので、締切期限を厳守すること。
- (3) 参加申込締切後の選手の変更は、死亡、疾病、傷害、転校、秋季大会との日程重複等の特別な場合のみ認める。特別な事情で選手を変更する場合は、それを証明する書類を添付し、当該都道府県スポーツ協会を通じて次のとおり行う。

ア 提出期日

- (ア) 硬式 2026年10月2日（金） （代表者会議開催前まで）
- (イ) 軟式 2026年10月1日（木） （代表者会議開催前まで）

イ 提出先

- (ア) 〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀一丁目22番25号 中沢佐伯記念野球会館
公益財団法人日本高等学校野球連盟
TEL 066-443-4661 FAX 066-443-1593
- (イ) 〒030-8570 青森県青森市長島一丁目1番1号
青の煌めきあおもり国スポ・障スポ実行委員会事務局
（青森県国スポ・障スポ局 競技式典課 競技運営グループ）
TEL 017-734-9771 FAX 017-734-8015
E-mail aomori2026kyougiuneipref.aomori.lg.jp
- (ウ) 〒036-8551 青森県弘前市大字上白銀町1番地1
青の煌めきあおもり国スポ・障スポ弘前市実行委員会事務局
（弘前市健康子ども部スポーツ局 国スポ・障スポ推進課）
E-mail 2026kokuspo-hsbb@city.hirosaki.lg.jp
TEL 0172-55-9843 FAX 0172-26-8146

なお、(イ)(ウ)については、原則メールにて提出とする。また、公益財団法人日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、別途、所定の手続により参加申込情報を修正すること。

9 参加上の注意

- (1) 参加チームは、代表者会議当日までに必ず所定の宿舎に到着し、第80回国民スポーツ大会高等学校野球競技本部〔8の(3)イ(イ)の実行委員会事務局〕に連絡すること。
- (2) その他の注意
ア 参加チームは、母校を出発してから帰校するまで一切他校と試合することはできない。
イ 各チームは、必ず1名の責任教師が引率者となり、大会期間中チーム及び選手の全ての行動に対して責任を負うものとする。

ウ 健康管理

(ア) 疾病又は試合中の負傷等により、主催者が試合出場を不相当と認めたときは、当該選手の試合出場を停止する。

(イ) その他健康管理上、試合をすることが不相当と主催者が認めたときは、その試合を停止する。

エ 参加チームは、公益財団法人日本高等学校野球連盟が定めた野球用具の使用制限に適合した野球用具を使用すること。

10 その他

(1) 組合せ抽選会

日 時 2026 年 9 月 7 日 (月) 午後 1 時

場 所 公益財団法人日本高等学校野球連盟

〒550-0002 大阪府大阪市江戸堀一丁目 22 番 25 号

中沢佐伯記念野球会館内

TEL 066-443-4661 FAX 066-443-1593

(2) 代表者会議

ア 硬 式

日 時 2026 年 10 月 2 日 (金) 午後 5 時

場 所 アートホテル弘前シティ

〒036-8004 青森県弘前市大字大町一丁目 1 番地 2

TEL 0172-37-0700 FAX 0172-37-1610

イ 軟 式

日 時 2026 年 10 月 1 日 (木) 午後 5 時

場 所 弘前プラザホテル

〒036-8001 青森県弘前市大字代官町 101 番地 1

TEL 0172-35-0345 FAX 0172-35-0344

(3) 表彰式

ア 硬 式

(ア) 3 位表彰

日 時 2026 年 10 月 4 日 (日) 準決勝終了後

場 所 弘前市運動公園野球場(はるか夢球場)

〒036-8101 青森県弘前市大字豊田二丁目 3 番地 1

(イ) 表彰式

日 時 2026 年 10 月 6 日 (火) 決勝終了後

場 所 弘前市運動公園野球場(はるか夢球場)

〒036-8101 青森県弘前市大字豊田二丁目 3 番地 1

イ 軟 式

(ア) 3 位表彰

日 時 2026 年 10 月 4 日 (日) 準決勝終了後

場 所 弘前市運動公園野球場(はるか夢球場)

〒036-8101 青森県弘前市大字豊田二丁目 3 番地 1

(4) 表彰式

日 時	2026 年 10 月 5 日（月） 決勝終了後
場 所	弘前市運動公園野球場（はるか夢球場） 〒036-8101 青森県弘前市大字豊田二丁目 3 番地 1

表 彰 式 次 第

【日 程】

3位表彰式 【硬式・軟式】10月4日(日) 準決勝終了後随時

表 彰 式 【軟式】10月5日(月) 決勝戦終了後

 【硬式】10月6日(火) 決勝戦終了後

【場 所】

弘前市運動公園野球場(はるか夢球場)

【式次第】

3位表彰式	
-------	--

順 序	次 第
1	開式通告
2	選手入場
3	賞状・メダル授与
4	競技会会長あいさつ
5	歓送のことば
6	閉式通告
7	選手退場

表 彰 式	
-------	--

順 序	次 第
1	開式通告
2	選手入場
3	賞状授与
4	メダル授与
5	競技会会長あいさつ
6	歓送のことば
7	国旗降納
8	大会旗・団体旗 ・県旗・市旗降納
9	閉式通告
10	選手退場

競技日程

高等学校野球競技（硬式）

代表者会議	10月2日（金）	17時00分	アートホテル弘前シティ
-------	----------	--------	-------------

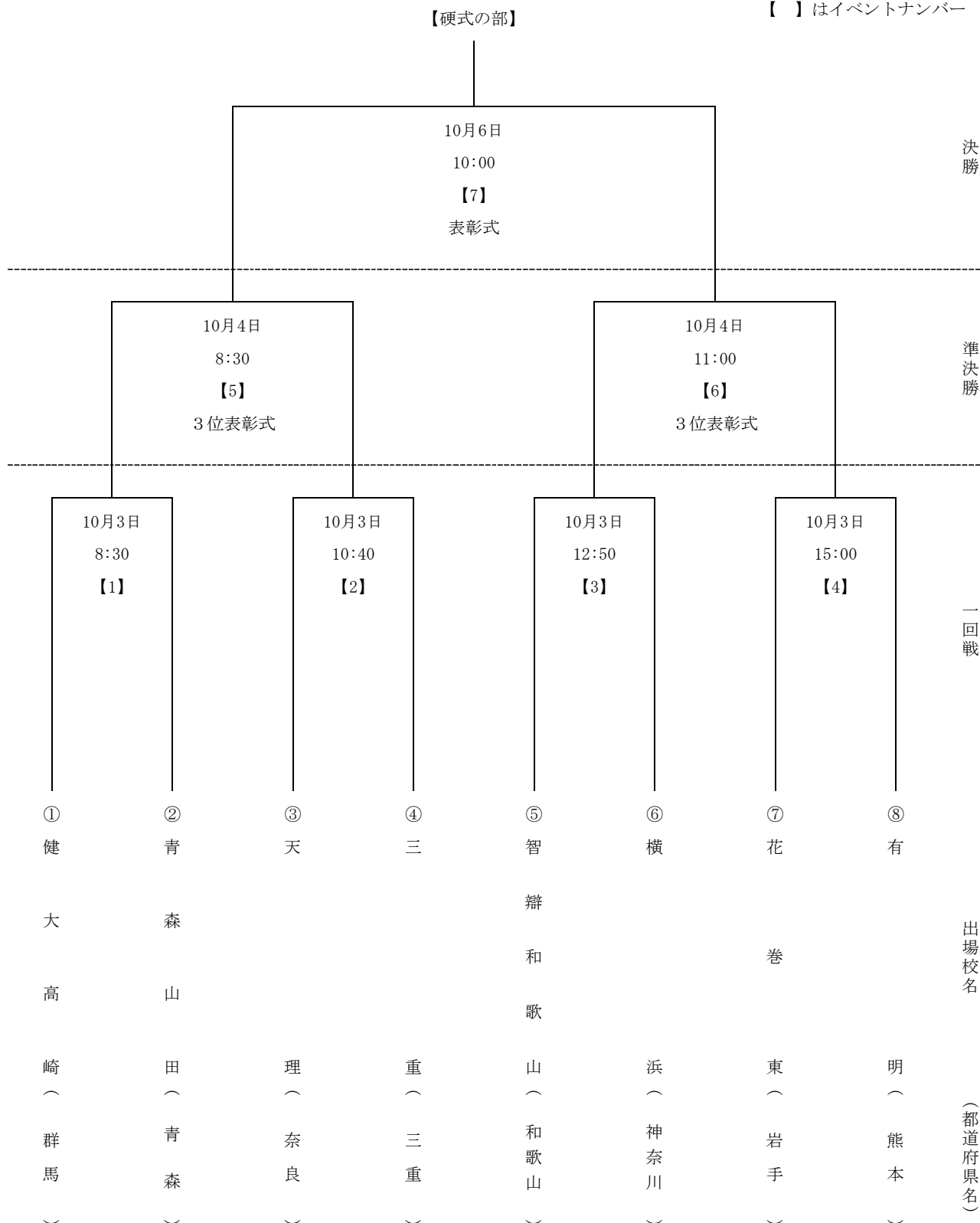
会場：弘前市運動公園野球場（はるか夢球場）

	10月3日（土）	10月4日（日）	10月5日（月）	10月6日（火）
	1 回 戦	準決勝	休養日	決 勝
第 1 試合	8:30	8:30		10:00
第 2 試合	10:40	11:00		
第 3 試合	12:50			
第 4 試合	15:00			

開 始 式	なし
3 位表彰式	10月4日（日） 準決勝各試合終了後
表 彰 式	10月6日（火） 決勝戦終了後

高等学校野球競技（硬式）組合せ

10月3日（土）から10月6日（火）まで4日間
会場：弘前市運動公園野球場（はるか夢球場）
【 】はイベントナンバー



競技日程

高等学校野球競技（軟式）

代表者会議	10月1日(木)	17時00分	弘前プラザホテル
-------	----------	--------	----------

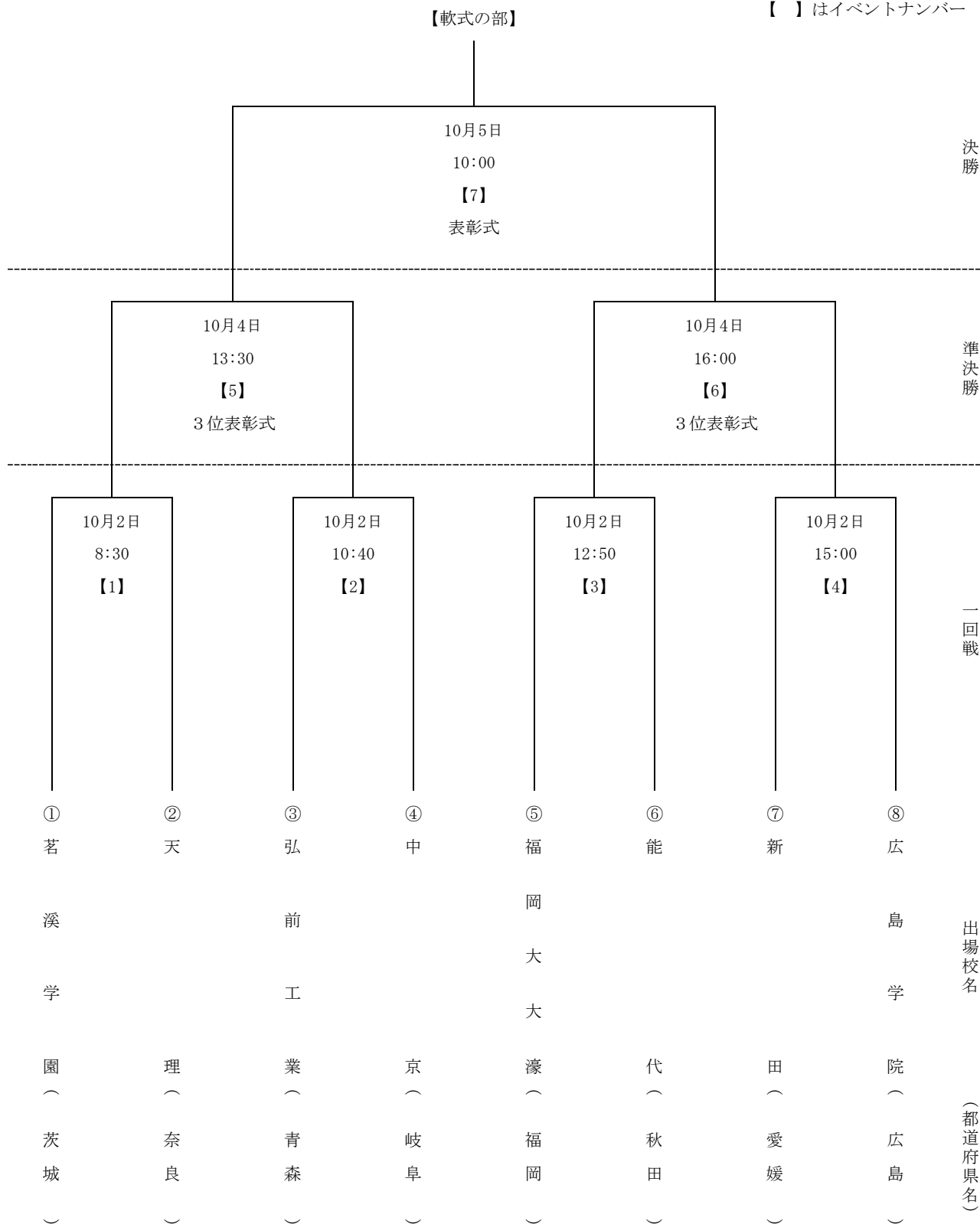
会場：弘前市運動公園野球場(はるか夢球場)

	10月2日(金)	10月3日(土)	10月4日(日)	10月5日(月)
	1 回戦	休養日	準決勝	決 勝
第 1 試合	8:30			10:00
第 2 試合	10:40			
第 3 試合	12:50		13:30	
第 4 試合	15:00		16:00	

開 始 式	なし
3 位表彰式	10月4日(日) 準決勝各試合終了後
表 彰 式	10月5日(月) 決勝戦終了後

高等学校野球競技（軟式）組合せ

10月2日（金）から10月5日（月）まで4日間
会場：弘前市運動公園野球場（はるか夢球場）
【 】はイベントナンバー



競技の見方

○日本の野球

日本における野球の歴史は、明治時代（1868～1912 年）の初期までさかのぼることができる。

当時、東京開成高（現東京大学の前身）で歴史と英語を教えていたホーレン・ウイルソンという若いアメリカ人教師が生徒たちにベースボールを教えたのが最初とされている。

その後、東京の第一高等学校（現在の東京大学教養学部）では、早くから学生が野球に取り組み、「一高」の黄金時代を築いた。ベースボールを「野球」と訳したのも一高の学生である。ついで、「早慶時代」に移り、大正 14 年（1925 年）秋、東京六大学野球連盟が結成されて以来、「六大学時代」に発展した。

昭和 9 年（1934 年）に日本のプロ野球チームが初めて組織されたときには、日本のアマチュア野球はすでに半世紀の歴史を歩んでおり、その中であって高校（当時は中等学校）野球の大会も 20 年の歳月を経ていた。

一方、アメリカのベースボールは、プロスポーツとして発展した歴史を持っているが、日本では大学や中等学校の間で盛んになった経緯があり、アマチュア野球を中心に発達した日本とアメリカとでは、このように発達の仕方に違いが見られる。

○野球の魅力

野球は、9 人ずつで対戦する 2 チームが、それぞれ攻守に分かれ、9 回（又は 7 回）ずつ攻守を行い、得点の多いチームを勝ちとする。攻撃側は順次打者となり、相手投手の投球をバットで打ち、アウトにならずに安全に 1 塁・2 塁・3 塁を回って本塁に帰れば 1 点を得る。

守備側は、打者あるいは走者をアウトにしようと協力して攻撃側が得点することを防ぐ。攻撃側が 3 人アウトになれば攻守を交代し、この攻防を繰り返していく。

野球は、自分でやっても、あるいは観戦していても非常に面白い頭脳的なスポーツで、日本人の国民性にマッチしているようである。一般的にいうと、華々しい打撃戦、特にホームランの応酬などは魅力的であるが、野球の魅力は決してそれだけではない。地味であっても堅実な守り、あるいはバッテリーの配球の妙、それを崩そうとする打者のかけひき、チャンス、ピンチの際、監督の作戦とそれに応ずる選手の動きなど、見るべき点は実に多いものである。

野球そのものは、運動競技であることから勝負を度外視すべきではなく、あくまでも勝利に向かってまい進しなければならない。そのためには、平素から、技術の錬磨とその向上に真剣に取り組み、不断の研究と不屈の精神の養成が必要である。

こうしたことがあってこそ初めて、スポーツの醍醐味が生まれるのである。

○高校野球の生い立ち

現代日本における大衆スポーツの中で、野球ほど普及しているものはない。子供から大人まで、そして、女性ファンを含めての野球人口は膨大である。この野球人口の中にあって高校野球の占める位置は極めて大きい。

全国的な規模で高校野球の大会が行われたのは、大正4年（1915年）朝日新聞社主催の第1回全国中等学校優勝野球大会が最初である。戦後結成された全国中等学校野球連盟（現日本高等学校野球連盟）と朝日新聞社との共催で、毎年8月には全国高等学校野球選手権大会が行われるようになり、今夏、第108回大会を迎えた。

この大会に10年遅れて始められた、毎日新聞社との共催の選抜高等学校野球大会とともに、わが国野球界の温床の役割を果たし続けている。

○高校野球の目的

高校野球の精神は3つのFで表されており、3つのFとは
Fair play、Friendship、Fighting spirit である。

試合を行って勝敗を決すればよいというものではなく、その目的は、高等学校の教育の一環として、あくまで心身共に健全な将来の日本を担う青少年の育成にある。

○高校野球の真髄

情熱と力のすべてを傾けて、無心に白球を追い続け、ひたむきに応援する学友たちと、ひとつの心に溶け合い精魂の限り勝利の獲得に奮闘する。ここに高校野球の真髄と、若人の誇りがある。

観る人をして感動させ、高校野球の魅力をもたせるのもまったくこのためにほかならない。

ご観戦いただく方々にも高校野球の目的と意義をご理解のうえ、マナーにご留意くださるとともに、純真な選手たちが繰り広げる立派なプレーには、惜しみない拍手を送っていただくことをお願いしたい。

青の煌めきあおもり国スポ「第80回国民スポーツ大会 高等学校野球（硬式・軟式）競技会」の出場チームは、いずれもトップレベルのチームばかりで、品格技量ともに優れており、必ず高校野球の真髄を発揮してくれるものと期待している。

○新たな取り組み

わた SHIGA 輝く国スポ第79回国民スポーツ大会より、選手の健康への配慮や日程のスムーズな消化を目的として従来の9イニングから7イニングに短縮し実施している。

花巻東高等学校

岩手県花巻市松園町55-1

背番号	位置	氏名	学年	身長	体重	投打
	責任教師	流石 裕之				
	監督	佐々木 洋				
1	投手	萬谷 堅心	3	178	75	左左
2	捕手	齋藤 蒼梧	2	174	84	右右
3	一塁手	本多 皓晶	2	175	85	右右
4	二塁手	粒来 琉雲	3	171	63	右左
⑤	三塁手	古城 大翔	3	181	93	右右
6	遊撃手	菊池 楽人	3	170	70	右右
7	左翼手	赤間 史弥	3	181	93	左右
8	中堅手	荒川 京太	3	175	70	右右
9	右翼手	大和田 瞬平	3	182	82	右左
10	控	橋本 銀士	3	172	63	右左
11	控	菅原 駿	2	185	91	右右
12	控	久保村 冠太	2	177	78	右左
13	控	川本 健人	2	183	90	右右
14	控	山下 怜歩	2	167	60	右左
15	控	戸倉 光揮	2	178	80	右右
16	控	菊地 輝	1	172	73	右右
17	控	高橋 條太	2	190	88	右右
18	控	生川 楓河	2	176	78	左左

※背番号の○は主将

● 学校創立年 1956年

● 野球部創部年 1956年

● 岩手大会

2 回 戦 10 - 0 盛岡 農

3 回 戦 7 - 0 花 泉

準々決勝 2 - 1 久 慈

準決勝 9 - 0 一関学院

決勝 10 - 0 盛岡大附

● 第108回全国高等学校野球選手権記念大会

1 回 戦 4 - 2 新 田

2 回 戦 4 - 1 岡山学芸館

3 回 戦 4 - 0 英 明

準々決勝 0 - 6 横 浜

● チーム紹介

夏の岩手県大会を4連覇し、春夏5季連続の甲子園出場となった。

1 年夏から甲子園でプレーする主将の4番・古城は鋭いスイングと勝負強さが特徴の強打者。赤間はパワーが自慢だけでなく、甲子園では何度も好走塁を見せ、左腕としては4試合で投げるなどフル回転の活躍だった。また、古城と赤間は木製バットで打つ。エース左腕の萬谷はマウンドさばきに優れ、キレのあるスライダーが持ち味。打者としてもコンタクト力が高く、この3人が投打の中心だ。身長168センチで小技がうまい2番粒来が出塁すれば、さらに打線は活気づく。

投手陣は萬谷、赤間に加えて、甲子園で好投した最速146キロの菅原のほか戸倉、生川も控えており、歴代でもトップレベルで層が厚い。



高崎健康福祉大学高崎高等学校

群馬県高崎市中大類町531

背番号	位置	氏名	学年	身長	体重	投打
	責任教師	生方 啓介				
	監督	青柳 博文				
1	投手	石垣 聡志	2	183	85	右右
2	捕手	大岩 翔斗	3	180	81	右右
3	一塁手	豊永 飛輝	3	177	83	右右
4	二塁手	岩井 由來	2	170	70	右右
5	三塁手	石田 翔大	3	178	80	右右
6	遊撃手	神崎 翔斗	2	177	77	右右
7	左翼手	佐藤 麻恩	3	173	81	右左
⑧	中堅手	石田 雄星	3	171	76	右左
9	右翼手	狩野 蓮義	1	166	78	右左
10	控	北田 莉玖	2	179	86	左左
11	控	新倉 大輝	3	176	78	右右
12	控	小原 快晴	3	171	80	右右
13	控	藤村 勇也	3	180	70	右右
14	控	萩原 雄大	2	168	70	右右
15	控	高橋 侑杜	3	167	66	右右
16	控	溝口 寛人	3	174	71	左左
17	控	中嶋 蒼空	2	172	85	右左
18	控	戸谷 圭汰	3	175	72	右右

※背番号の○は主将

● 学校創立年 1968年

● 野球部創部年 2002年

● 群馬大会

2 回 戦 17 - 0 伊 勢 崎 工

3 回 戦 6 - 0 伊 勢 崎

準々決勝 8 - 1 東 農 第 二

準 決 勝 2 - 0 前 橋 育 英

決 勝 5 - 4 前 橋 商

● 第108回全国高等学校野球選手権記念大会

1 回 戦 7 - 1 八 幡 商

2 回 戦 1 - 0 東 海 大 甲 府

3 回 戦 4 - 1 佐 野 日 大

準々決勝 1 - 0 有 明

準 決 勝 1 - 3 天 理

決 勝 3 - 4 智 辯 和 歌 山

● チーム紹介

夏の甲子園では学校の過去最高成績を上回る準優勝。その原動力となったのは、多彩な投手陣だ。

甲子園で背番号1をつけた2年生右腕・石垣はカットボールが得意で、打たせて取る投球が持ち味。同じく2年生の左腕・北田は独特な軌道のカーブを操る。野手も務め、打線では中軸に座る佐藤麻恩、石田翔の両3年生右腕らも控えている。その投手陣を堅実な守備が支え、夏の甲子園では1-0 の守り合いを3試合も勝ちきった。

打線では高校日本代表にも選ばれた中堅手の石田雄のミート力が光る。捕手の大岩もパンチ力のある打撃が魅力だ。夏の群馬大会で2本塁打を放った2年生遊撃手の神崎が復調すれば、打線の破壊力は増す。



横浜高等学校

神奈川県横浜市金沢区能見台通46-1

背番号	位置	氏名	学年	身長	体重	投打
	責任教師	高山 大輝				
	監督	村田 浩明				
1	投手	織田 翔希	3	186	80	右右
2	捕手	脇山 魁音	2	183	84	右右
③	一塁手	小野 舜友	3	177	84	左左
4	二塁手	田島 陽翔	2	175	74	右左
5	三塁手	川上 慧	2	179	79	右左
6	遊撃手	池田 聖摩	3	176	78	右左
7	左翼手	江坂 佳史	3	174	80	右右
8	中堅手	小林 大雅	2	171	65	右左
9	右翼手	千島 大翼	3	173	77	右右
10	控	林田 滉生	3	175	82	右右
11	控	小林 鉄三郎	2	184	82	左左
12	控	堀江 修生	3	171	67	右右
13	控	大山 結永	3	180	86	右右
14	控	福井 那留	2	173	72	右左
15	控	植村 直太朗	3	173	77	右右
16	控	中嶋 海人	2	180	85	左左
17	控	安食 琥太郎	2	171	72	右左
18	控	松崎 遥大	3	172	72	右左

※背番号の○は主将

● 学校創立年 1942年

● 野球部創部年 1945年

● 神奈川大会

2 回 戦 7 - 0 湘南工大附

3 回 戦 11 - 0 住 吉

4 回 戦 8 - 1 東海大相模

5 回 戦 12 - 0 三浦学苑

準々決勝 11 - 4 市ヶ尾

準決勝 4 - 0 慶 応

決勝 11 - 1 桐光学園

● 第108回全国高等学校野球選手権記念大会

1 回 戦 7 - 2 沖縄尚学

2 回 戦 10 - 1 日南学園

3 回 戦 5 - 2 霞ヶ浦

準々決勝 6 - 0 花巻東

準決勝 1 - 7 智辯和歌山

● チーム紹介

夏の甲子園では4強入り。投打に能力の高い選手がそろっていて、9月に18歳以下アジア選手権に出場した高校日本代表には5人もの選手が選ばれた。

その筆頭が、甲子園大会最速となる156キロを計測した右腕・織田だ。3試合に登板し、計27イニングで34個の三振を奪った。スライダーやフォークなどの変化球を軸に打たせて取る投球もできる。2年生左腕・小林鉄も185センチの長身から威力のある速球を投げ込む。

野手では高校日本代表でも主将を務めた小野が夏の甲子園で4割超えの打率を残し、1番打者としてチームを引っ張った。ショートバウンドの送球を器用にすくい上げる一塁の守備でもみせる。強肩の遊撃手・池田も走攻守に存在感を発揮する。



三重高等学校

三重県松阪市久保町1232

背番号	位置	氏名	学年	身長	体重	投打
	責任教師	西川 明				
	監督	沖田 展男				
1	投手	吉井 海翔	3	173	70	左左
②	捕手	大西 新史	3	172	68	右右
3	一塁手	河口 遼	2	180	77	右左
4	二塁手	水野 央清	2	170	60	右右
5	三塁手	立松 宗馬	3	172	75	右右
6	遊撃手	秋山 隼人	3	174	70	右右
7	左翼手	福田 篤史	3	172	70	右左
8	中堅手	前野 元佑	2	176	75	右左
9	右翼手	東堂 竜馬	3	176	82	右右
10	控	上田 晴優	3	178	77	左左
11	控	船橋 昊	2	174	70	右右
12	控	澤田 羽空	3	166	64	右右
13	控	清水 鳳次郎	3	173	75	右左
14	控	東 大夢	2	170	76	右左
15	控	中西 優斗	3	174	65	右右
16	控	村上 楓太	3	170	65	右右
17	控	前川 大和	3	180	76	右右
18	控	古川 稟久	3	183	78	右右

※背番号の○は主将

● 学校創立年 1961年

● 野球部創部年 1961年

● 三重大会

2 回 戦 12 - 2 津 東
3 回 戦 13 - 3 高 田
準々決勝 7 - 0 いなべ総合
準決勝 7 - 6 津 商
決勝 12 - 3 近大高専

● 第108回全国高等学校野球選手権記念大会

2 回 戦 5 - 3 松 商 学 園
3 回 戦 5 - 2 履 正 社
準々決勝 0 - 7 天 理

● チーム紹介

夏の甲子園には4年ぶりに出場。準優勝した2014年以来、12年ぶりとなる8強入りを果たした。

甲子園での3試合は、三重大会に続いて右打者と左打者が交互に並ぶジグザグ打線で挑んだ。切れ目がなく、2、3回戦はいずれも2桁安打。天理との準々決勝は無得点に終わったが、計9安打を積み重ねた。チーム打率は3割1分4厘で、3番の秋山が5割4分5厘と好調だった。

投手陣は、左腕の吉井と上田、右腕の古川のタイプの異なる3人が柱。主にこの3人で継投し、打者116人に与えた四死球はわずか4だった。上田は、似た球速帯で曲がるスライダーとカーブを持ち、11回を投げて1失点。防御率は0.82を誇る。打線が、ここぞという場面で一本出して、流れをつかみたい。



天理高等学校

奈良県天理市杣之内町1260

背番号	位置	氏名	学年	身長	体重	投打
	責任教師	笠井 要一				
	監督	藤原 忠理				
1	投手	長尾 亮大	3	181	83	右右
2	捕手	小澤 典弘	2	176	80	右右
3	一塁手	関村 偉千陽	2	183	81	右左
4	二塁手	田畑 龍二	3	169	65	右右
5	三塁手	中西 琉威	3	174	77	右左
⑥	遊撃手	金本 相有	3	175	70	右右
7	左翼手	賀藤 史博	3	175	65	右右
8	中堅手	大塚 弘登	3	175	76	右左
9	右翼手	前田 奨太	3	171	69	右左
10	控	橋本 桜佑	3	178	86	左左
11	控	新井 幾大	3	175	74	左左
12	控	國廣 新	3	173	72	右右
13	控	高瀬 陽斗	3	175	70	右右
14	控	折谷 墨輝	2	173	69	右左
15	控	山中 喜晴	3	179	74	右左
16	控	寛 侑大	2	180	80	右左
17	控	井上 良健	3	178	76	右右
18	控	桑島 龍希	3	170	70	右右

※背番号の○は主将

●学校創立年 1900年

●野球部創部年 1900年

●奈良大会

2 回 戦 3 - 0 橿 原
 3 回 戦 7 - 1 大 和 広 陵
 準々決勝 13 - 1 奈 良 商 工
 準 決 勝 7 - 0 畝 傍
 決 勝 8 - 0 奈 良 大 附

●第108回全国高等学校野球選手権記念大会

2 回 戦 7 - 2 福 山
 3 回 戦 6 - 3 高 川 学 園
 準々決勝 7 - 0 三 重
 準 決 勝 0 - 1 健 大 高 崎

●チーム紹介

選抜大会準優勝の智弁学園がいる奈良を勝ち上がり、夏の甲子園では9年ぶりの4強と、実力を見せつけた。

チームがめざすのは、接戦でも勝てる野球。中心になったのが、エースの長尾だ。140キロ台の速球とスライダーなど緩急を織り交ぜ、甲子園では防御率2.08をマーク。26回で27三振を奪った。左腕の橋本も打者の近くでボールを離す変則で、打ちづらい投手だ。

打線は、甲子園で2本塁打を放った中軸の金本主将に注目だ。双子の兄は、愛知大会で敗れた名門東邦の主将。兄の思いも背負い、4試合で7安打と活躍した。準決勝で最後の打者となった2年生の好打者、関村の成長も2027年に向け楽しみだ。守りは甲子園では安定感を欠いたが、二遊間を軸に確実に守りたい。



智辯学園和歌山高等学校

和歌山県和歌山市冬野2066-1

背番号	位置	氏名	学年	身長	体重	投打
	責任教師	塩 健一郎				
	監 督	中谷 仁				
1	投 手	和気 匠太	3	182	90	右右
2	捕 手	山田 凜虎	3	176	81	右右
3	一 塁 手	荒井 優聖	3	170	85	右左
4	二 塁 手	楠本 龍生	3	173	75	右左
5	三 塁 手	黒川 梨大郎	3	172	75	右左
6	遊 撃 手	川原 一将	3	174	74	右両
7	左 翼 手	山下 晃平	3	180	85	右右
8	中 堅 手	長友 悠成	2	170	70	右左
9	右 翼 手	井本 陽太	2	183	90	左左
⑩	控	松本 虎太郎	3	173	82	右右
11	控	久葉 亮太	3	175	85	右左
12	控	井戸本 陽向	3	170	82	右右
13	控	清水 大夢	3	185	104	右左
14	控	坂本 憲信	3	170	70	右左
15	控	三嶋 健太	3	174	84	右右
16	控	朝来 友翔	3	190	97	右右
17	控	米原 佑真	2	176	84	左左
18	控	長井 心海	2	170	80	右右

※背番号の○は主将

● 学 校 創 立 年 1978年

● 野 球 部 創 部 年 1979年

● 和歌山大会

2 回 戦 6 - 0 那 賀

3 回 戦 7 - 6 田 辺

準々決勝 2 - 0 市 和 歌 山

準 決 勝 8 - 1 和 歌 山 工

決 勝 4 - 3 耐 久

● 第108回全国高等学校野球選手権記念大会

2 回 戦 2 - 1 社

3 回 戦 7 - 3 敦 賀 気 比

準々決勝 11 - 3 仙 台 育 英

準 決 勝 7 - 1 横 浜

決 勝 4 - 3 健 大 高 崎

● チーム紹介

自慢の強打で5年ぶり4度目の全国制覇を果たした。

打線は、高校日本代表に選ばれた4番の山田が軸にどこからでも点が取れる。2番の荒井はバットコントロールに優れており、3番の井本は甲子園で打率6割超と絶好調だった。また、5番の楠本は世代屈指の好投手である横浜・織田の152キロを右翼席まで運ぶパンチ力を発揮した。下位打線に並んだ川原、山下、黒川も長打力がある。

エースは、カットボール気味のまっすぐで打たせてとるスタイルの右腕・和気。制球力が高く3試合を投げて防御率0.00だった久葉を含めた計6人の継投で頂点まで駆け上がった。守りはしっかりと鍛えられており、全5試合で3失策と球際の強さが光る。



有明高等学校

熊本県荒尾市増永2200

背番号	位置	氏名	学年	身長	体重	投打
	責任教師	中野 賢哉				
	監督	高見 一茂				
1	投手	斉藤 遼汰郎	3	175	76	左左
2	捕手	西山 享太郎	3	171	73	右右
3	一塁手	新谷 遼	2	178	65	右左
4	二塁手	永田 晴輝	3	175	69	右左
5	三塁手	十文字 彩輝	3	180	72	右右
⑥	遊撃手	實田 聡志	3	176	75	右右
7	左翼手	栄井 彰	3	176	65	右右
8	中堅手	高橋 春喜	3	174	72	右左
9	右翼手	山崎 暁斗	2	175	70	右左
10	控	工 修哉	3	172	74	左左
11	控	兼清 智隆	2	170	70	左左
12	控	大迫 朔太郎	3	175	83	右右
13	控	築脇 拓馬	3	174	80	右左
14	控	坂口 翔大	3	179	77	右左
15	控	廣沢 遼太郎	3	175	76	右左
16	控	安藤 悠斗	3	172	72	右右
17	控	空見 大愛	3	173	70	右右
18	控	若杉 旭浩	3	168	70	右右

※背番号の○は主将

● 学校創立年 1961年

● 野球部創部年 1997年

● 熊本大会

2 回 戦 5 - 0 千 原 台

3 回 戦 5 - 0 開 新

準々決勝 10 - 0 岱 志

準決勝 5 - 4 熊 本 工

決勝 4 - 1 東海大熊本星翔

● 第108回全国高等学校野球選手権記念大会

1 回 戦 6 - 3 立命館宇治

2 回 戦 3 - 2 長 崎 日 大

3 回 戦 4 - 1 東日大昌平

準々決勝 0 - 1 健 大 高 崎

● チーム紹介

甲子園は春夏通じて初出場で3勝を挙げ、8強まで勝ち上がった。敗れた準々決勝も延長タイブレークでの1点差決着。旋風を起こし、7月の地震で被災した熊本県の代表として確かな足跡を残した。

1回戦で九回2死から逆転勝ちするなど、3勝すべてが逆転劇という粘りが身上了。

甲子園でのチーム打率は1割8分台だったが、11盗塁と機動力がある。三盗にも挑んだ。中心は、打率3割5分2厘の1番永田主将で、5盗塁を決めた。国スポでも小技に足を絡め、少ないチャンスに点に結びつけたい。

甲子園での1試合平均失点は1.4。いずれも左腕のエース斉藤と10番工の継投が特徴だ。工が3回戦直前に負傷したが、斉藤が好投するなど、固い絆を見せた。守備ではミスは出たが、球際の強さや好返球で沸かせた。



青森山田高等学校

青森県青森市青葉3丁目13-40

背番号	位置	氏名	学年	身長	体重	投打
	責任教師	佐藤 孝				
	監督	中條 純				
1	投手	川久保 昂直	3	175	69	左左
2	捕手	沖野 悠雅	3	173	74	右右
3	一塁手	藤川 哲	3	175	78	右右
4	二塁手	郡司 宙弥	3	164	67	右左
5	三塁手	田牧 竜之介	3	165	75	右右
6	遊撃手	工藤 仁誠	2	175	71	右右
7	左翼手	木村 寿来	3	173	75	右右
8	中堅手	田中 煌士	3	173	75	右左
9	右翼手	向井 那々瀬	3	176	78	右左
10	控	手代森 爽来	2	171	70	右左
11	控	山田 勇翔	2	166	64	左左
12	控	佐藤 蓮太郎	3	170	85	右右
13	控	守 凜心	2	184	93	右右
14	控	上田 悠悟	3	166	66	右左
15	控	船橋 雄星	2	173	73	右右
16	控	齋藤 大河	2	171	71	右右
⑪	控	須藤 彪	3	180	76	右右
18	控	大湯 彪琉	2	170	70	右右

※背番号の○は主将

● 学校創立年 1918年

● 野球部創部年 1954年

● 青森大会

2 回 戦 12 - 2 弘 前 中 央
 3 回 戦 8 - 0 八 戸 工
 準々決勝 8 - 1 三 沢 商
 準決勝 9 - 0 八戸工大一
 決勝 5 - 4 弘前学院聖愛

● 第108回全国高等学校野球選手権記念大会

1 回 戦 6 - 5 遊 学 館
 2 回 戦 2 - 6 東日大昌平

● チーム紹介

昨秋の青森県大会は3位。危機感をもったチームは、ひと冬越えて生まれ変わった。

突出した選手がいない分、誰が出場しても活躍できる、という空気もチーム内にあった。春の県大会と夏の青森大会を、いずれも決勝で逆転勝ちして制した。

今夏の甲子園でもその粘り強さを発揮した。1回戦は6-5で遊学館に勝利した。6得点中5得点は2死から挙げたものだった。2回戦は東日大昌平に2-6で敗れたが、2死から1点を返し、諦めない姿勢を示した。

チーム打率は2割4分2厘。青森大会で打率2割と苦しんだ4番の沖野が、6割6分7厘と当たった。投手陣はタイプの異なる投手で継投する。2試合で5失策だった守備の出来が鍵になりそうだ。



能代高等学校

秋田県能代市高埜2-1

背番号	位置	氏名	学年	身長	体重	投打
	責任教師	和田 宏哉				
	監督	加賀 智大				
1	投手	簾内 爽太郎	2	175	70	右両
2	捕手	岡本 湊斗	2	178	79	右右
3	一塁手	菅原 陽輝	3	175	86	右右
4	二塁手	鈴木 健生	3	171	58	右左
5	三塁手	永井 絢遥	2	164	67	右右
6	遊撃手	若皆 心士郎	2	163	55	右右
⑦	左翼手	今畠 快	3	179	77	右右
8	中堅手	岩本 煌駕	2	172	64	左左
9	右翼手	阿部 權斗	3	174	76	右右
10	控	長岐 郁杜	2	172	55	右左
11	控	近藤 彪真	1	164	56	右右
12	控	松岡 來那	1	169	62	右左
13	控	藤岡 武留	2	178	67	右右
14	控	大高 葉凜	2	169	58	右左
15	控	石上 鳳介	1	178	75	右左
16	控	白鳥 珀哉	2	164	50	右左

※背番号の○は主将

● 学校創立年 1925年

● 野球部創部年 1951年

● 西東北大会

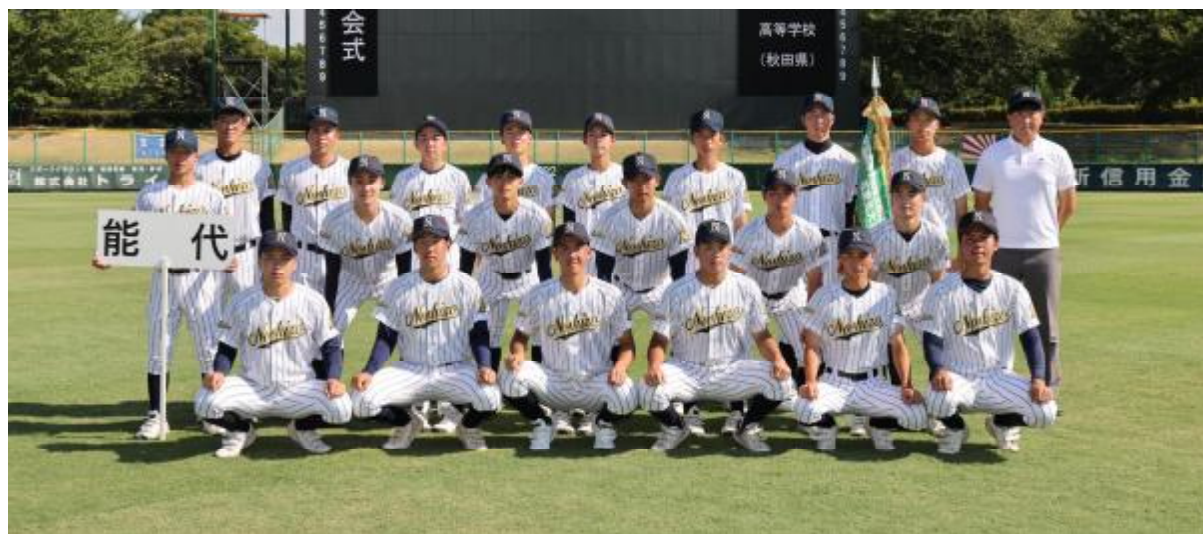
1 回 戦 9 - 0 羽 黒
決 勝 8 - 4 秋 田

● 第71回全国高等学校軟式野球選手権大会

1 回 戦 6 - 0 兵 庫 工
準々決勝 0 - 1 茗 溪 学 園

● チーム紹介

第71回全国高等学校軟式野球選手権大会では、4年連続の24回目の出場でした。「打の能代」を体現するべく、これまで重点的に打撃力を鍛えてきました。それだけでなく、試合の流れの中で打撃力を発揮するためにも、細かい守備や走塁にも磨きをかけ、ビハインドからでも逆転できるよう精神的にも鍛えてきました。戦略的に考えて打席に立つことを徹底し、長打の一発と小技を絡めながら得点に繋げることができるチームです。



茗溪学園高等学校

茨城県つくば市稲荷前1-1

背番号	位置	氏名	学年	身長	体重	投打
	責任教師	瀬端 一秀				
	監督	重光 智章				
1	投手	小澤 大河	2	180	66	右右
2	捕手	前田 瑛希	2	166	61	右右
3	一塁手	官野 真太郎	1	174	76	左左
4	二塁手	中野 玲央那	1	163	53	右左
5	三塁手	薩埵 壮一朗	3	164	54	右右
6	遊撃手	高山 智樹	2	167	60	右左
7	左翼手	安井 響	2	170	64	右右
⑧	中堅手	鳥田 龍之介	3	173	63	右右
9	右翼手	中野 有人	3	169	66	右右
10	控	伊藤 拓真	3	171	69	右左
11	控	飯泉 岳	2	173	59	右右
12	控	高橋 昊大	1	163	58	右右
13	控	森田 湊斗	1	165	62	右右
14	控	川上 彩樹	2	171	69	右右
15	控	内藤 一吹	1	166	64	右右
16	控	佐藤 寛真	1	171	58	右右

※背番号の○は主将

● 学校創立年 1979年

● 野球部創部年 1982年

● 北関東大会

1 回 戦 7 - 2 高 崎 工
決 勝 1 - 0 作 新 学 院

● 第71回全国高等学校軟式野球選手権大会

1 回 戦 1 - 0 矢 掛
準々決勝 1 - 0 能 代
準決勝 2 - 1 福岡大大濠
決 勝 0 - 7 中 京

● チーム紹介

国民スポーツ大会は9年ぶり4回目の出場となります。伝統の「守り勝つ野球」を貫き、最後まで粘り強く戦います。選手権では、厳しい試合を通して多くの経験を積むことができました。どんな状況でも野球を楽しむ気持ちを忘れず、仲間とともに戦える喜びと、支えてくださる方々への感謝を胸に、一戦必勝で勝利を目指します。



中京高等学校

岐阜県瑞浪市土岐町7074-1

背番号	位置	氏名	学年	身長	体重	投打
	責任教師	福井 健治				
	監督	後藤 敦也				
1	投手	奥村 奏太	2	163	60	左左
②	捕手	中村 駿希	3	175	75	右右
3	一塁手	酒井 輝馬	2	178	73	右左
4	二塁手	田中 伶旺	3	168	63	右左
5	三塁手	北川 絢士郎	3	168	63	右左
6	遊撃手	岩井 七星	2	170	65	右右
7	左翼手	増田 愛士	3	175	75	右右
8	中堅手	中村 源	3	175	70	右右
9	右翼手	田中 蓮人	3	178	75	右右
10	控	西尾 大和	2	170	60	右右
11	控	酒井 暖道	3	180	80	右右
12	控	小栗 聖真	2	170	70	右右
13	控	荒田 愛琉	3	168	68	右左
14	控	大前 瑛哲	3	170	70	右右
15	控	梅村 琉生	3	160	60	右右
16	控	家田 琥太郎	3	178	65	左左

※背番号の○は主将

● 学校創立年 1963年

● 野球部創部年 1963年

● 東海大会

1 回 戦 8 - 0 緑

準 決 勝 8 - 0 静 岡 商

決 勝 6 - 0 高 田

● 第71回全国高等学校軟式野球選手権大会

1 回 戦 4 - 0 鹿 児 島 実

準々決勝 7 - 0 大 商 大

準 決 勝 1 - 0 天 理

決 勝 7 - 0 茗 溪 学 園

● チーム紹介

7大会連続25回目の出場となりました。
選手権同様に魂を込めて戦い、2冠を
目指します。

軟式特有の「たたき」を効果的におりま
ぜ、中京野球を貫き、少しでも多くの方に
軟式野球の魅力を伝えていきたいです。



天理高等学校

奈良県天理市杣之内町1260

背番号	位置	氏名	学年	身長	体重	投打
	責任教師	岡田 敬之				
	監督	木田 準也				
①	投手	金子 琉奏	3	174	63	右左
2	捕手	新田 晟也	3	169	64	右右
3	一塁手	丸山 絢世	3	176	77	右右
4	二塁手	西村 健吾	3	168	61	右右
5	三塁手	神田 大介	2	177	66	右右
6	遊撃手	田中 孝志	2	171	58	右右
7	左翼手	酒井 陽太	3	171	64	右右
8	中堅手	佐藤 嘉泰	3	167	61	右左
9	右翼手	橋口 恵介	3	168	61	右左
10	控	櫻井 亮成	3	164	56	右右
11	控	藤本 大海	3	169	62	右右
12	控	中村 勇弥	3	173	82	右右
13	控	磯貝 虎之介	3	174	62	右右
14	控	中澤 睦人	3	176	70	右右
15	控	濱 勇大	3	175	64	左左
16	控	千葉 太智	2	168	53	右左

※背番号の○は主将

●学校創立年 1900年

●野球部創部年 1948年

●近畿大会

1 回 戦 6 - 0 耐 久
決 勝 1 - 0 比 叡 山

●第71回全国高等学校軟式野球選手権大会

1 回 戦 4 - 2 三 浦 学 苑
準々決勝 2 - 1 広 島 学 院
準 決 勝 0 - 1 中 京

●チーム紹介

投手を中心に堅実に守る守備のチームです。守備からリズムをつくって攻撃に繋げ、粘り強く戦います。国スポに出場できることに感謝して、応援して下さい皆さんに喜んで頂けるよう、一戦一戦、全力でプレーします。



広島学院高等学校

広島県広島市西区古江上1丁目630

背番号	位置	氏名	学年	身長	体重	投打
	責任教師	品田 智之				
	監督	横山 秀樹				
1	投手	新岡 慶翔	2	174	61	右右
2	捕手	辻 慶太郎	1	173	74	右右
3	一塁手	山中 優人	2	172	67	右右
4	二塁手	正岡 祥	2	169	56	右右
5	三塁手	岸本 侑大	2	179	72	右右
6	遊撃手	登 治都	2	166	59	右右
7	左翼手	玉木 優之介	2	171	55	右右
⑧	中堅手	中嶋 瑛太	2	168	54	右右
9	右翼手	橋本 尚燈	2	184	67	右右
10	控	三桝 賢介	2	176	59	右右
11	控	國久保 悠真	1	180	70	右右
12	控	田中 陽貴	1	175	73	右右
13	控	櫻田 琥太郎	1	168	69	右右
14	控	金井 清士郎	1	174	63	右右
15	控	川光 壮	1	172	60	右右
16	控	後藤 旺良	2	170	56	右右

※背番号の○は主将

● 学 校 創 立 年 1956年

● 野 球 部 創 部 年 1959年

● 西中国大会

1 回 戦 7 - 0 柳 井
決 勝 2 - 0 崇 徳

● 第71回全国高等学校軟式野球選手権大会

1 回 戦 6 - 0 松 商 学 園
準々決勝 1 - 2 天 理

● チーム紹介

週2回の限られた練習で上達するために、部員全員で自分たちのプレーの改善点を話し合い、目的を持った練習を徹底してきました。1・2年生チームの思い切りの良さを活かし、第71回全国高等学校軟式野球選手権大会では全国大会初勝利を掴むことができました。本大会でも走塁を絡めた積極的な攻撃と四死球・エラーの無い守備で勝ち勝つ野球を目指し、粘り強く最後まで全力で戦い抜きます。



新田高等学校

愛媛県松山市山西町663

背番号	位置	氏名	学年	身長	体重	投打
	責任教師	大田 敏弘				
	監督	小山 満久				
1	投手	石村 翔竜	3	178	78	右右
2	捕手	中本 皇成	2	165	63	右右
3	一塁手	越智 遥哉	3	172	70	右両
4	二塁手	矢野 有真	3	178	72	右右
5	三塁手	野本 圭梧	3	168	57	右左
6	遊撃手	川口 慧人	3	161	49	右右
7	左翼手	中崎 皇	3	163	48	右右
⑧	中堅手	末廣 鈴生	3	174	66	右右
9	右翼手	中本 顕成	2	166	61	右右
10	控	藤岡 昇汰	3	179	73	右右
11	控	末廣 篤	2	180	63	右右
12	控	白方 悠翔	1	156	59	右両
13	控	矢野 孔陽	2	176	83	右右
14	控	浅野 義斗	2	157	48	右両
15	控	飛鷹 柊輝	1	174	55	右左
16	控	門田 柚貴	1	174	75	右左

※背番号の○は主将

● 学校創立年 1938年

● 四国大会

1 回 戦 4 - 0 富 岡 東
決 勝 12 - 0 香川誠陵・農業経営

● 第71回全国高等学校軟式野球選手権大会

1 回 戦 2 - 0 登 別 明 日
準々決勝 0 - 1 福岡大大濠

● チーム紹介

7年ぶりとなる国民スポーツ大会への出場を果たしました。バッテリーを中心とした守備からリズムを作り、どんな展開でも粘り強く戦い抜くのがチームの真骨頂です。攻撃では少ない好機を確実にものにする勝負強さを磨いてきました。支えてくださった方々への感謝を胸に、全員野球で一戦一戦全力で挑みます。



福岡大学附属大濠高等学校

福岡県福岡市中央区六本松1丁目12-1

背番号	位置	氏名	学年	身長	体重	投打
	責任教師	辻 晃宏				
	監督	中島 康裕				
1	投手	宮田 翔太郎	3	180	70	右右
2	捕手	堀之内 琉	3	167	67	右右
3	一塁手	細田 知義	3	179	70	右右
4	二塁手	小崎 晴大	2	165	55	右右
⑤	三塁手	藤田 智瑛	3	171	67	右右
6	遊撃手	杉光 健	3	158	47	右右
7	左翼手	力武 優真	3	174	58	右右
8	中堅手	福田 博貴	3	175	60	右右
9	右翼手	井之上 大慈	3	177	62	右右
10	控	蓮池 竣	3	168	56	右右
11	控	武田 剣昇	3	172	65	右右
12	控	新村 桜	1	170	60	右左
13	控	松尾 龍磨	1	168	57	左左
14	控	石井 優太	1	176	81	右右
15	控	中島 大晴	1	167	64	右右
16	控	永松 侑	1	169	57	右右

※背番号の○は主将

●学校創立年 1951年

●野球部創部年 1951年

●北部九州大会

1 回 戦 9 - 2 北 松 農
決 勝 6 - 2 津 久 見

●第71回全国高等学校軟式野球選手権大会

1 回 戦 6 - 1 仙 台 育 英
準々決勝 1 - 0 新 田
準決勝 1 - 2 茗 溪 学 園

●チーム紹介

12年ぶり4回目の出場となります。3年生を中心としたまとまりのあるチームです。選手権同様、主戦の宮田を中心に堅実に粘り強い守備から流れを作り、チャンスではエンドランやスクイズで得点に繋げていきます。ここまで野球をさせて頂けることへの感謝の気持ちを忘れず、1試合でも多くこのチームで野球ができるよう全員野球で頑張ります。



弘前工業高等学校

青森県弘前市馬屋町6-2

背番号	位置	氏名	学年	身長	体重	投打
	責任教師	三浦 暢之				
	監 督	金澤 航				
①	投 手	佐藤 耀	3	163	50	右両
2	捕 手	金持 佑京	3	171	70	右右
3	一 塁 手	花田 開	3	188	130	右右
4	二 塁 手	岩倉 颯祐	2	173	95	右右
5	三 塁 手	五十嵐 遥斗	3	172	69	右右
6	遊 撃 手	村上 惺	3	177	68	右両
7	左 翼 手	三浦 康平	3	169	73	右右
8	中 堅 手	成田 虎介	3	166	56	右右
9	右 翼 手	山本 翔太	3	174	99	右右
10	控					
11	控	櫛引 翔馬	3	171	67	右右
12	控					
13	控	福田 兜馬	3	178	64	右右
14	控	成田 仁	3	175	70	右右
15	控					
16	控					

※背番号の○は主将

- 学 校 創 立 年 1910年
- 野 球 部 創 部 年 1951年
- 青森大会
決 勝 29 - 8 弘前・五所一連合
- 西東北大会
1 回 戦 1 - 12 秋 田
- チーム紹介

初出場ではありますが、試合中どんなことが起きても「諦めない心」を宿し、チーム一丸となって「常に自分たちの最善を尽くした」野球を実践していきます。打撃面や守備面で荒削りな部分が多数ありますが、高校野球を長くプレーできることに感謝しながら誠実な心を持ちつつ、「品性」を高めて全員野球で戦っていききたいと思います。



過去の成績一覧【硬式】

開催年	回	開催地	優勝校（都道府県）	スコア	準優勝校
昭和21年	1	京 都 大 阪 兵 庫 滋 賀 奈 良	浪華商業学校（大阪）	8－3	東京高師付中学校（東京）
昭和22年	2	石 川	岐阜商業学校（岐阜）	2－1	小倉中学校（福岡）
昭和23年	3	福 岡	西京商業高校（京都）	2－0	小倉高校（福岡）
昭和24年	4	東 京	静岡城内高校（静岡）	2－1	明治高校（東京）
昭和25年	5	愛 知	瑞陵高校（愛知）	2－1	宇都宮工業高校（栃木）
昭和26年	6	広 島	広島観音高校（広島）	1－0	芦屋高校（兵庫）
昭和27年	7	福 島 宮 城 山 形	盛岡商業高校（岩手）	4－0	芦屋高校（兵庫）
昭和28年	8	徳 島 愛 媛 高 知 香 川	中京商業高校（愛知）	2－1	徳島商業高校（徳島）
昭和29年	9	北海道	高知商業高校（高知）	2－0	新宮高校（和歌山）
昭和30年	10	神奈川	四日市高校（三重）	4－3	若狭高校（福井）
昭和31年	11	兵 庫	中京商業高校（愛知）	1－0	米子東高校（鳥取）
昭和32年	12	静 岡	坂出商業高校（香川）	1－0	広島商業高校（広島）
昭和33年	13	富 山	作新学院高校（栃木）	1－0	高松商業高校（香川）
昭和34年	14	東 京	日大第二高校（東京）	4－2	平安高校（京都）
昭和35年	15	熊 本	北海高校（北海道）	3－0	米子東高校（鳥取）
昭和36年	16	秋 田	中京商業高校（愛知）	6－1	報徳学園高校（兵庫）
昭和37年	17	岡 山	西条高校（愛媛）	2－0	久留米商業高校（福岡）
昭和38年	18	山 口	下関商業高校（山口）	5－4	磐城高校（福島）
昭和39年	19	新 潟	博多工業高校（福岡）	2－0	尾道商業高校（広島）
昭和40年	20	岐 阜	銚子商業高校（千葉）	4－1	岐阜短大付高校（岐阜）
昭和41年	21	大 分	松山商業高校（愛媛）	1－0	津久見高校（大分）
昭和42年	22	埼 玉	大宮高校（埼玉）	5－1	大分商業高校（大分）
昭和43年	23	福 井	若狭高校（福井）	4－1	松山商業高校（愛媛）
昭和44年	24	長 崎	静岡商業高校（静岡）	1－0	玉島商業高校（岡山）
昭和45年	25	岩 手	P L 学園高校（大阪）	2－1	報徳学園高校（兵庫）
昭和46年	26	和歌山	岡山東商業高校（岡山）	5－3	大分商業高校（大分）
昭和47年	27	鹿児島	明星高校（大阪）	7－2	高松第一高校（香川）
昭和48年	28	千 葉	銚子商業高校（千葉）	3－2	作新学院高校（栃木）
昭和49年	29	茨 城	土浦日大高校（茨城）	2－1	銚子商業高校（千葉）
昭和50年	30	三 重	習志野高校（千葉）	4－3	新居浜商業高校（愛媛）
昭和51年	31	佐 賀	P L 学園高校（大阪）	2－1	海星高校（長崎）
昭和52年	32	青 森	早稲田実業高校（東京）	5－2	東洋大姫路高校（兵庫）
昭和53年	33	長 野	報徳学園高校（兵庫）	3－2	中京高校（愛知）
昭和54年	34	宮 崎	雨天打ち切り、箕島高校（和歌山）・都城高校（宮崎）・浪商高校（大阪）・浜田高校（島根）		
昭和55年	35	栃 木	横浜高校（神奈川）	4－2	秋田商業高校（秋田）
昭和56年	36	滋 賀	今治西高校（愛媛）	2－1	早稲田実業学校（東京）
昭和57年	37	島 根	広島商業高校（広島）	3－1	池田高校（徳島）
昭和58年	38	群 馬	中京高校（愛知）	4－3	横浜商業高校（神奈川）

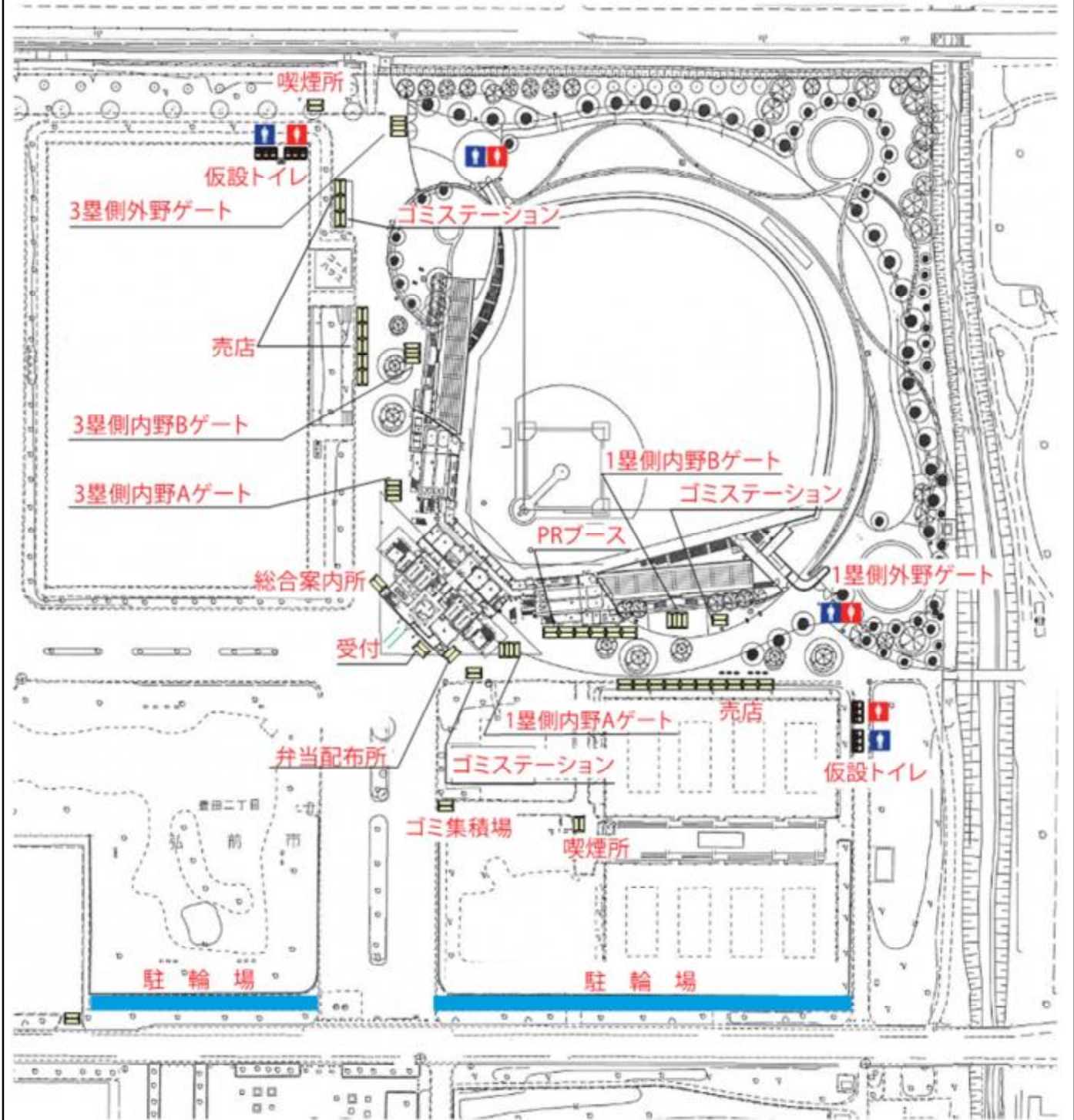
開催年	回	開催地	優勝校（都道府県）	スコア	準優勝校
昭和59年	39	奈良	取手第二高校（茨城）	5－4	P L 学園高校（大阪）
昭和60年	40	鳥取	高知商業高校（高知）	5－1	宇部商業高校（山口）
昭和61年	41	山梨	鹿児島商業高校（鹿児島）	3－1	東洋大姫路高校（兵庫）
昭和62年	42	沖縄	帝京高校（東京）	1－0	沖縄水産高校（沖縄）
昭和63年	43	京都	沖縄水産高校（沖縄）	6－0	江の川高校（島根）
平成元年	44	北海道	上宮高校（大阪）	5－2	福岡大大濠高校（福岡）
平成2年	45	福岡	鹿児島実業高校（鹿児島）	4－3	松山商業高校（愛媛）
平成3年	46	石川	松商学園高校（長野）	5－1	星稜高校（石川）
平成4年	47	山形	星稜高校（石川）	3－0	尽誠学園高校（香川）
平成5年	48	徳島 香川	修徳高校（東京）	10－0	小林西高校（宮崎）
平成6年	49	愛知	北海高校（北海道）	7－2	愛知高校（愛知）
平成7年	50	福島	P L 学園高校（大阪）	7－6	柳川高校（福岡）
平成8年	51	広島	P L 学園高校（大阪）	7－2	福井商業高校（福井）
平成9年	52	大阪	徳島商業高校（徳島）	5－4	前橋工業高校（群馬）
平成10年	53	神奈川	横浜高校（神奈川）	2－1	京都成章高校（京都）
平成11年	54	熊本	智弁和歌山高校（和歌山）	7－1	滝川第二高校（兵庫）
平成12年	55	富山	横浜高校（神奈川）	6－4	長崎日大高校（長崎）
平成13年	56	宮城	横浜高校（神奈川）	6－5	智弁学園高校（奈良）
平成14年	57	高知	川之江高校（愛媛）	5－4	帝京高校（東京）
平成15年	58	静岡	光星学院高校（青森）	9－7	小松島高校（徳島）
平成16年	59	埼玉	横浜高校（神奈川）	10－3	東北高校（宮城）
平成17年	60	岡山	駒大苫小牧高校（北海道）	9－1	遊学館高校（石川）
平成18年	61	兵庫	早稲田実業高校（東京）	1－0	駒大苫小牧高校（北海道）
平成19年	62	秋田	今治西高校（愛媛）	2－1	広陵高校（広島）
平成20年	63	大分	雨天打ち切り、横浜高校（神奈川）・智弁和歌山高校（和歌山）・倉敷商業高校（岡山）・浦添商業高校（沖縄）・報徳学園高校（兵庫）・鹿児島実業高校（鹿児島）		
平成21年	64	新潟	県岐阜商業高校（岐阜）	11－4	都城商業高校（宮崎）
平成22年	65	千葉	雨天打ち切り、東海大相模高校（神奈川）・新潟明訓高校（新潟）・聖光学院高校（福島）・関東第一高校（東京）・興南高校（沖縄）・明德義塾高校（高知）		
平成23年	66	山口	日大第三高校（東京）	4－3	習志野高校（千葉）
平成24年	67	岐阜	雨天打ち切り、大阪桐蔭高校（大阪）・仙台育英高校（宮城）		
平成25年	68	東京	大会規定により、修徳高校（東京）・大阪桐蔭高校（大阪）		
平成26年	69	長崎	明德義塾高校（高知）	3－2	高崎健康福祉大高崎高等学校（群馬）
平成27年	70	和歌山	東海大相模高校（神奈川）	7－5	中京大中京高校（愛知）
平成28年	71	岩手	履正社高校（大阪）	14－6	広島新庄高校（広島）
平成29年	72	愛媛	広陵高校（広島）	7－4	大阪桐蔭高校（大阪）
平成30年	73	福井	大会規定により、浦和学院高校（埼玉）・大阪桐蔭高校（大阪）・近江高校（滋賀）・金足農業高校（秋田）		
令和元年	74	茨城	関東第一高校（東京）	10－2	海星高校（長崎）
令和2年	75	鹿児島	中止		
令和3年	76	三重	中止		
令和4年	77	栃木	大阪桐蔭高校（大阪）	5－1	聖光学院高校（福島）
令和5年	特別	鹿児島	大会規定により、仙台育英高校（宮城）・土浦日大高校（茨城）		
令和6年	78	佐賀	明德義塾高校（高知）	3－1	小松大谷高校（石川）
令和7年	79	滋賀	山梨学院高校（山梨）	3－1	高川学園高校（山口）

過去の成績一覧【軟式】

開催年	回	開催地	優勝校(都道府県)	スコア	準優勝校
昭和21年	1	京都府 大津市 滋賀県 奈良県	武蔵野中学校(東京)	5-2	平安中学校(京都)
22	2	石川	(高等学校野球は開催せず)		
23	3	福岡	桐生高校(群馬)と西京商業高校(京都)との優勝戦は雨のため中止		
24	4	東京	(高等学校野球は開催せず)		
25	5	愛知	上野高校(東京)	4-2	氏家高校(栃木)
26	6	広島	京都商業高校(京都)	1-0	柳井商業高校(山口)
27	7	福井 宮城 山形 徳島	日吉ヶ丘高校(京都)	5-0	仙台商業高校(宮城)
28	8	愛知 香川	早稲田実業高等部(東京)	5-0	釜石高校(岩手)
29	9	北海道	早稲田実業高等部(東京)	2-1	県和歌山商業高校(和歌山)
30	10	神奈川	中京商業高校(愛知)	1-0	早稲田実業高等部(東京)
31	11	兵庫	中京商業高校(愛知)	2-0	都立第一商業高校(東京)
32	12	静岡	早稲田実業高等部(東京)	1-0	秋田高校(秋田)
33	13	富山	中京商業高校(愛知)	3-1	備南高校(岡山)
34	14	東京	徳島工業高校(徳島)	1-0	静岡商業高校(静岡)
35	15	熊本	静岡商業高校(静岡)	3-0	秋田商業高校(秋田)
36	16	秋田	平安高校(京都)	1-0	静岡商業高校(静岡)
37	17	岡山	松商学園高校(長野)	3-1	御所工業高校(奈良)
38	18	山口	大原高校(岡山)	3-2	静岡商業高校(静岡)
39	19	新潟	新津高校(新潟)	2-1	習志野高校(千葉)
40	20	岐阜	北海高校(北海道)	4-3	中京高校(岐阜)
41	21	大分	北海高校(北海道)	1-0	日田商業高校(大分)
42	22	埼玉	高崎商業高校(群馬)	8-2	北海高校(北海道)
43	23	福井	富山商業高校(富山)	2-0	上五島高校(長崎)
44	24	長崎	札幌商業高校(北海道)	4-1	東邦高校(愛知)
45	25	岩手	上五島高校(長崎)	2-1	小野田工業高校(山口)
46	26	和歌山	熊本商業高校(熊本)	1-0	県和歌山商業高校(和歌山)
47	27	鹿児島	飾磨工業高校(兵庫)	5-3	函館有斗高校(北海道)
48	28	千葉	銚子商業高校(千葉)	3-0	双葉農業高校(福島)
49	29	茨城	竜ヶ崎第一高校(茨城)	6-3	宇久高校(長崎)
50	30	三重	秋田商業高校(秋田)	6-0	静岡商業高校(静岡)
51	31	佐賀	六甲高校(兵庫)	4-1	西和賀高校(岩手)
52	32	青森	中津高校(岐阜)	7-3	隠岐高校(島根)
53	33	長野	浜田高校(島根)	8-7	東大寺学園高校(奈良)
54	34	宮崎	静岡商業高校(静岡)と高鍋農業高校(宮崎)との決勝戦は雨のため中止		
55	35	栃木	能代高校(秋田)	3-0	静岡商業高校(静岡)

開催年	回	開催地	優勝校(都道府県)	スコア	準優勝校
56	36	滋賀	松山商業高校(愛媛)	2-1	大津高校(山口)
57	37	島根	玉野高校(岡山)	4-0	蒲江高校(大分)
58	38	群馬	高崎商業高校(群馬)	1-0	松商学園高校(長野)
59	39	奈良	平工業高校(福島)	5-0	松山商業高校(愛媛)
60	40	鳥取	河浦高校(熊本)	3-0	県岐阜商業高校(岐阜)
61	41	山梨	広陵高校(広島)	3-1	北海高校(北海道)
62	42	沖縄	横浜商業高校(神奈川)	6-5	八重山高校(沖縄)
63	43	京都	中京高校(岐阜)	3-0	河浦高校(熊本)
平成元年	44	北海道	P L 学園高校(大阪)	8-0	愛知高校(愛知)
2	45	福岡	作新学院高等部(茨城)	3-1	平工業高校(福島)
3	46	石川	中京商業高校(岐阜)	3-2	松商学園高校(長野)
4	47	山形	四日市高校(大分)	4-0	茨木高校(大阪)
5	48	徳島 香川	中京商業高校(岐阜)	2-1	四日市高校(大分)
6	49	愛知	中京高校(愛知)	2-1	鹿児島商業高校(鹿児島)
7	50	福島	開新高校(熊本)	4-0	四日市高校(大分)
8	51	広島	桐蔭学園高校(神奈川)	8-0	松山商業高校(愛媛)
9	52	大阪	育英高校(兵庫)	6-5	仙台商業高校(宮城)
10	53	神奈川	平安高校(京都)	1-0	作新学院高等部(栃木)
11	54	熊本	作新学院高等部(栃木)	6-5	浜田高校(島根)
12	55	富山	育英高校(兵庫)	3-0	松商学園高校(長野)
13	56	宮城	中京高校(岐阜)	2-0	河浦高校(熊本)
14	57	高知	崇徳高校(広島)	5-4	育英高校(兵庫)
15	58	静岡	育英高校(兵庫)	3-0	倉敷工業高校(岡山)
16	59	埼玉	浜松商業高校(静岡)	10-2	広島商業高校(広島)
17	60	岡山	大津高校(山口)と作新学院高校(栃木)の両校1位		
18	61	兵庫	作新学院高校(栃木)	1-0	広陵高校(広島)
19	62	秋田	茗溪学園高校(茨城)と羽黒(山形)の両校1位		
20	63	大分	中京高校(岐阜)、作新学院高校(栃木)、広島商業高校(広島)、比叡山高校(滋賀)の4校1位		
21	64	新潟	東山高等学校(京都)	5-1	神戸弘陵学園高校(兵庫)
22	65	千葉	新田高校(愛媛)、天理高校(奈良)、関西高校(岡山)、作新学院高校(栃木)、中京高校(岐阜)の5校1位		
23	66	山口	作新学院高校(栃木)	2-0	天理高校(奈良)
24	67	岐阜	大津・大津緑洋高校(山口)	2-1	作新学院高校(栃木)
25	68	東京	鹿児島工業高校(鹿児島)	2-0	早稲田大学高等学院(東京)
26	69	長崎	南部高等学校(和歌山)	3-1	神港学園(兵庫)
27	70	和歌山	作新学院高等学校(栃木)	1-0	津久見高等学校(大分県)
28	71	岩手	天理高等学校(奈良)	1-0	早稲田大学高等学院(東京)
29	72	愛媛	中京高等学校(岐阜)	6-1	仙台商業高等学校(宮城)
30	73	福井	中京高等学校(岐阜)	3-0	能代高等学校(秋田)
令和元年	74	茨城	中京高等学校(岐阜)	1-0	仙台商業高等学校(宮城)
2	75	鹿児島	新型コロナウイルス感染症の影響で令和5年に延期		
3	76	三重	新型コロナウイルス感染症の影響で中止		
4	77	栃木	作新学院高等学校(栃木)、鹿児島実業高等学校(鹿児島)の両校1位		
5	特別	鹿児島	天理高等学校(奈良)	1-0	河南高等学校(大阪)
6	78	佐賀	中京高等学校(岐阜)	6-0	横浜商業高等学校(神奈川)
7	79	滋賀	中京高等学校(岐阜)	5-0	広陵高等学校(広島)

競技会場周辺図



競技会場案内図



出展：国土地理院
地理院地図Vectorを加工して作成

競技会場までのアクセス情報

○鉄道

- ・弘南鉄道弘南線 弘前駅から運動公園前駅まで約5分乗車

○バス

- ・JR弘前駅城東口2番乗り場（城東安原弘前駅中央口環状線）より乗車
外崎2丁目バス停より徒歩12分

○自動車

- ・JR弘前駅から約10分
- ・青森空港から約60分
- ・大館能代空港から約80分
- ・東北自動車道大鰐弘前I.Cから約20分
- ・東北自動車道黒石I.Cから約30分



弘南鉄道
時刻表



弘南バス
時刻表

関係機関連絡先一覧

◎実行委員会事務局

	所在地	電話番号
青の煌めきあおもり国スポ・障スポ 弘前市実行委員会	青森県弘前市大字上白銀町 1 - 1	0172-55-9841

◎競技会場

名称	所在地	電話番号
弘前市運動公園 野球場（はるか夢球場）	青森県弘前市豊田 2 丁目 3 - 1	0172-27-6411

◎警察

名 称	所在地	電話番号
青森県警察 弘前警察署	弘前市大字八幡町3丁目3-2	0172-32-0111

◎医療関係

分類	名称	アクセス方法	二次元コード
近隣医療機関	医療情報ネット（ナビイ）	右記二次元コードまたは「医療情報ネット（ナビイ）」で検索	



挑戦者たちは越えようとする。
記録を。ライバルを。自分自身を。
過去の常識も。世界の価値観さえも。
挑戦者たちこそあたらしい未来への原動力だ。
これまでも、そしてこれからも、
わたしたちは挑戦する人たちを応援します。
スポーツの持つ様々な可能性で、
望む未来へたどり着くために。



JSPPO

Japan Sport Association

スポーツと、望む未来へ。

わたしたちは、JAPAN  GAMES を応援しています。



大塚製薬



三井住友海上

MS&AD INSURANCE GROUP

セレスポ

時事通信

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント（暴力、暴言、ハラスメントなど）に、
みんなが『NO！』と言う社会を目指して

『スポハラ（スポーツ・ハラスメント）』とは？

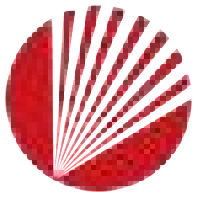
「スポハラ（スポーツ・ハラスメント）」とは、スポーツの現場において、「暴力」、「暴言」、
「ハラスメント」、「差別」など“安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為”のことです。

指導者と指導を受ける者との関係のみならず、スポーツの現場における関係者の誰によっても、
また誰に対してであっても、スポハラは起こります。



Japanese
Olympic
Committee





JSPPO
Japan Sport Association

ぼうりよくこういとうそうだんまどぐち
スポーツにおける暴力行為等相談窓口



りょうかのう
どなたでもご利用可能！

きがる そうだん
お気軽にご相談ください

「スポハラ」をなくすためには
「いかなる理由でも、指導者・
コーチによる不適切な行為は
あってはならない」

とスポーツに携わるすべての人が思うことが重要です。

スポーツにおける暴力行為等根絶宣言・スポーツ・インテグリティ確保に関する協力覚書》》



グッドコーチを目指して

グッドコーチなら? / バッドコーチなら? /

ケーススタディから考える

保護者の役割

- 技術のコーチングよりも「安全・安心なスポーツ環境の守り手」として子どもに寄り添う
- 保護者は最も重要な「他者」

暴力は違法行為

プレイヤーのミスに対するコーチング

ケーススタディ①

暴力と同様の違法行為

ケーススタディ②

保護者との関係構築

スポハラの種類

- 他人に対する配慮を欠いた言動
- 他人の尊厳を傷つける言動

なども、スポハラに繋がりますので、「他人に配慮・他人を尊重」して、スポーツをするように心がけましょう。

スポーツに関わるみんなが

他人への思いやり・尊重の

こころを持つことが大切

ケーススタディ③

フェアプレー

誰が「加害者」、「被害者」となるのか?

- 指導者から選手に対するものだけでなく先輩・後輩・友人なども加害者になり得る
- 女性も加害者に、男性も被害者になり得る
- 異性に対するものだけでなく、同性に対してもなり得る

プレー以外の行動等に対する対応

ケーススタディ④

パワハラとは?

自分の立場を利用し嫌がらせを行うこと
肉体的 精神的苦痛を与える
スポーツを行う環境を悪化させる

スポハラを防ぐために...

動機・プレッシャー (不正行為をする心機)	何のためにスポーツ指導を行うのかを考える →勝つことよりもプレイヤーの成長や幸せのため
機会 (不正行為ができる環境)	不正行為が起きにくい環境をつくる →密室にならないようにする(オープンな指導環境) →他者の意見を聞き、風通しを良くする
正当化 (不正行為を正当化する心機)	「これくらいいいだろう」という考えを改める →高い倫理観、高潔性(インテグリティ)をもつ

スポーツ現場や組織で取り組むべきこと

- ◆ ガイドラインの作成
- ◆ 「ハラスメントを許さない」という意思を明確にする

○スポハラに頼らないスポーツ環境を作るためには...

- ・コーチだけでなく、保護者も知識のアップデートが必要!
- ・誰もかスポハラの加害者になってしまう可能性があることから、スポハラが発生しない状況を理解し、予防に努める!

セクシュアル・ハラスメント

ケーススタディ⑤

[illegible]

アスリートの盗撮、 写真・動画の悪用、 悪質なSNS投稿は 卑劣な行為です。

スポーツは、子供から大人まで誰もが楽しめるものです。そのためにも安心してスポーツに取り組める環境を守っていく必要があります。盗撮はもちろん、アスリートの写真・動画を使用した性的目的のSNS投稿やWEB掲載は、アスリート、更には多くのファン、家族、関係者を傷つける絶対に許されない卑劣な行為です。すべてのアスリートが競技に集中し、スポーツを心から楽しめる環境を守るため、スポーツ界全体でこの問題に取り組みます。

- ▶ 大会における盗撮防止事例を共有し、各大会での防止策の取り組みを後押しします。
- ▶ 研修等を通じ、アスリート自身がネットやSNSで身を守る必要性を啓発していきます。
- ▶ SNS投稿やWEB掲載の実態把握に努め、関係機関に共有していきます。

この問題を解決するには皆様のご理解が欠かせません。

これからも安心してスポーツができる環境を守るために、ご理解ご協力をお願いいたします。

安全な環境を、すべてのスポーツ愛好者のために。 SAVE ATHLETES, SAVE SPORT.

大会会場で盗撮等が疑われる行為を見かけましたら大会主催者にお知らせください。

アスリートを傷つける性的目的のSNS投稿やWEB掲載を見かけましたら下記サイトよりご連絡ください。
今後の対応に活用するとともに、悪質な事例については当局への通報も検討します。

<https://www.joc.or.jp/about/savesport/>



- ▶ 盗撮は迷惑防止条例で犯罪として処罰される可能性があります。
- ▶ SNS等で本人の名誉を傷つける書き込みは犯罪(名誉毀損罪)として処罰される可能性があります。
- ▶ 匿名による投稿であっても、法的手続により、投稿者が特定され、損害賠償請求の対象になる可能性があります。



勝利を超える価値がある

私たちは信じる。

正々堂々と競いあう潔さを。

相手をリスペクトすることで生まれる友情や感動を。

まっすぐ挑戦しつづける、そこに、

自分や、仲間や、社会さえ変える力があることを。

さあ、すべては、私たちの中にある

フェアネスの心からはじまる。

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。



公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構

MIZUNO SPORTS PROMOTION FOUNDATION

1970 ▶▶▶▶▶ 56TH ▶▶▶▶▶ 2026



スポーツを愛する人たちへ

私たち、ミズノスポーツ振興財団は、
スポーツの普及、振興に必要な事業を行い、
スポーツを愛する人たちを応援しています。



公益財団法人
ミズノスポーツ振興財団

競技会場地マップ

Venue map

国スポ	正式競技(37)	特別競技(1)	公開競技(7)	デモンストレーションスポーツ(39)	冬季正式競技(3)
障スポ	正式競技(14)	オープン競技(3)	(身)身体障がい者が出場できる競技 (知)知的障がい者が出場できる競技 (精)精神障がい者が出場できる競技		

東青地域

青森市

- 国スポ総合開・閉会式
- 障スポ開・閉会式
- 陸上競技
- 水泳(競泳)
- 水泳(水球)
- 水泳(アーティスティックスイミング)
- 水泳(オープンウォータースイミング)
- テニス
- バレーボール(6人制)
- バレーボール(ビーチバレーボール)
- ハンドボール
- ソフトテニス
- 卓球
- 軟式野球
- ライフル射撃(25m)
- ラグビーフットボール(15人制)
- スポーツクライミング(リード・ボルダー)
- アーチェリー
- ゴルフ
- トライアスロン

平内町

- ゴルフ
- 綱引

蓬田村

- モルック

今別町

- 年齢別バドミントン

外ヶ浜町

- ペタンク

- ウォークビンゴ
- カーリング
- ソフトバレーボール
- ターゲット・バードゴルフ
- ドッジボール
- 年齢別ソフトテニス
- 年齢別テニス
- ふれあいボウリング
- ユニバーサルホッケー
- ランジボール卓球
- ダンススポーツ
- 陸上競技(身・知)
- 水泳(身・知)
- アーチェリー(身)
- 卓球(身・知・精)

サウンドテーブルテニス(身)を含む。

下北地域

むつ市

- ローイング
- バスケットボール
- セーリング
- フェンシング
- フライングディスク
- バスケットボール(知)

大間町

- ウォーキング

風間浦村

- ノルディックウォーキング

東通村

- ソフトバレーボール

佐井村

- ふれあいソフトボール

上北地域

十和田市

- サッカー
- バスケットボール
- 相撲
- ゲートボール
- バウンドテニス
- パークゴルフ
- Let's Enjoy バウンドテニス
- バレーボール(身)

三沢市

- ホッケー
- バスケットボール
- 軟式野球
- ソフトボール
- 銃剣道
- 武術太極拳
- いきいき太極拳
- スケート(ショートトラック)
- アイスホッケー
- ボウリング(知)
- 車いすバスケットボール(身)
- デフボウリング(身)

野辺地町

- ハンドボール

七戸町

- 剣道
- ブラインドテニス(身)

六戸町

- 軟式野球

横浜町

- マラソン

東北町

- ソフトボール
- 女子ソフトボール
- ソフトボール(知)

六ヶ所村

- ホッケー
- 軟式野球

おいらせ町

- 軟式野球
- スポーツチャンバラ
- ファイン・ボール
- ブラインドベースボール(身)
- ファイン・ボール(身)

西北地域

五所川原市

- バレーボール(6人制)
- バレーボール(精)

つがる市

- バレーボール(6人制)
- 柔道
- バレーボール(知)

鰯ヶ沢町

- マスターズスイミング

深浦町

- ノルディックウォーキング

板柳町

- ふれあいゲートボール
- ウォーキング

鶴田町

- マラソン&ウォーキング

中泊町

- ビーチサッカー

中南地域

弘前市

- 体操(競技)
- 体操(新体操)
- 体操(トランポリン)
- ソフトボール
- 弓道(近的・遠的)
- ライフル射撃(50m、10m、BR・BP)
- 空手道

黒石市

- バドミントン

西目屋村

- カヌー(スプリント)
- カヌー(スラローム・ワイルドウォーター)

大鰐町

- パラグライディング
- オリエンテーリング
- スキー(ジャイアントスラローム)
- スキー(クロスカントリー)

- クレー射撃(トラップ・スキート)
- 高等学校野球(硬式・軟式)
- マスターズ陸上競技
- ビリヤード
- フライングディスク(身・知)
- ボッチャ(身)

平川市

- ウエイトリフティング
- グラウンド・ゴルフ
- エアロビック
- インディアカ

藤崎町

- なぎなた
- パワーリフティング
- スポーツウエルネス吹矢

田舎館村

- ユニカール

三八地域

八戸市

- サッカー
- バスケットボール
- レスリング
- 自転車(トラックレース)
- ソフトボール
- ラグビーフットボール(7人制)
- ボウリング
- 空道
- スケート(スピード)
- スケート(フィギュア)
- アイスホッケー
- サッカー(知)
- フットソフトボール(知)

三戸町

- パークゴルフ

田子町

- マラソン

階上町

- 自転車(ロードレース)
- フロアボール

五戸町

- サッカー

南部町

- サッカー

新郷村

- エンジョイ! グラウンド・ゴルフ

県外

宮城県利府町

- 水泳(飛込)

山梨県北杜市

- 馬術

秋田県鹿角市

- スキー(スペシャルジャンプ)
- スキー(コンパインド)

競技記録結果

第80回国民スポーツ大会の正式・特別競技の競技記録結果を掲載しています

掲載期間:2026年8月28日(金)～12月21日(月)

▶ PC・スマートフォン

<https://kirokukensaku.net/5NS26/index.html>

▶ 携帯電話

<http://kirokukensaku.net/5NS26/mob/index.html>



PC・スマートフォン



携帯電話

バーチャル高校野球

高等学校野球(硬式・軟式)競技の
全試合をバーチャル高校野球で
配信します！ぜひご覧ください！



青の煌めきあおもり国スポ・障スポ
弘前市実行委員会



弘前市HP



Instagram

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ弘前市実行委員会事務局
青森県弘前市大字上白銀町1-1 TEL:0172-55-9841